

平成23年度 総合評価方式にかかるアンケート集計結果

実施期間：平成23年9月7日～9月26日

調査対象：新潟市総合評価方式試行案件に参加した企業，及び参加しようとしている企業等

調査機関：新潟市土木部技術管理課

調査目的：新潟市で今後発注する総合評価方式による入札をより良い制度にすることを目的とする。

回答社数：147社

アンケートの回答率：下記のとおり

全体の回答率

登録数※	回答数	回答率
1,726	147	8.52%

所在地別回答率

所在地区分	登録数※	回答数	回答率
市内本店	885	141	15.93%
支店(県内)	68	3	4.41%
支店(県外)	214	2	0.93%
県内本店	214	1	0.47%
県内支店	17	0	0.00%
県外	328	0	0.00%

※全体，所在地別の登録数は，平成23年6月時点の新潟市建設工事入札参加登録者数による。

ランク別回答率（重複あり）

	登録数※	回答数	回答率
A	943	88	9.33%
B	645	88	13.64%
C	487	59	12.11%
D	306	18	5.88%
なし		24	
不明		6	

工種別回答率（重複あり）

	登録数※	回答数	回答率
土木一式	899	130	14.46%
建築一式	441	53	12.02%
電気	376	7	1.86%
管	513	29	5.65%
造園	152	33	21.71%
上記以外		33	

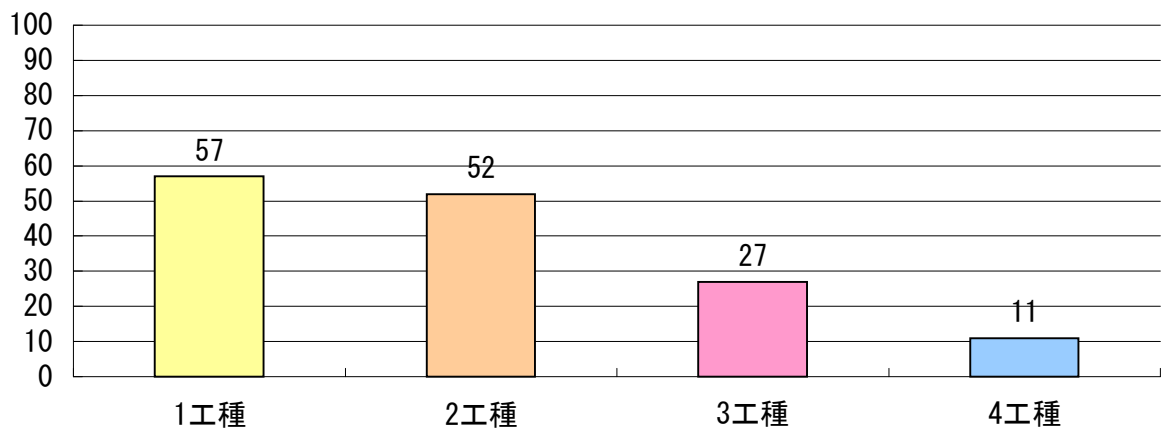
※ランク別，工種別の登録数は，平成23年度新潟市競争入札参加者格付工種有資格者数による。

アンケートの集計について：

- ・集計結果（グラフ）については，アンケートの設問順に掲載しています。
- ・ご意見等については，グラフの後に掲載しています。
- ・ご意見等については，掲載の都合上，文章を簡略化し，同じ主旨のものについては，一つの文章にまとめています。
- ・アンケートの設問と重複しているご意見等については，掲載していません。
- ・アンケート実施は9月時点であるため，それ以降に改定しているものがあります。

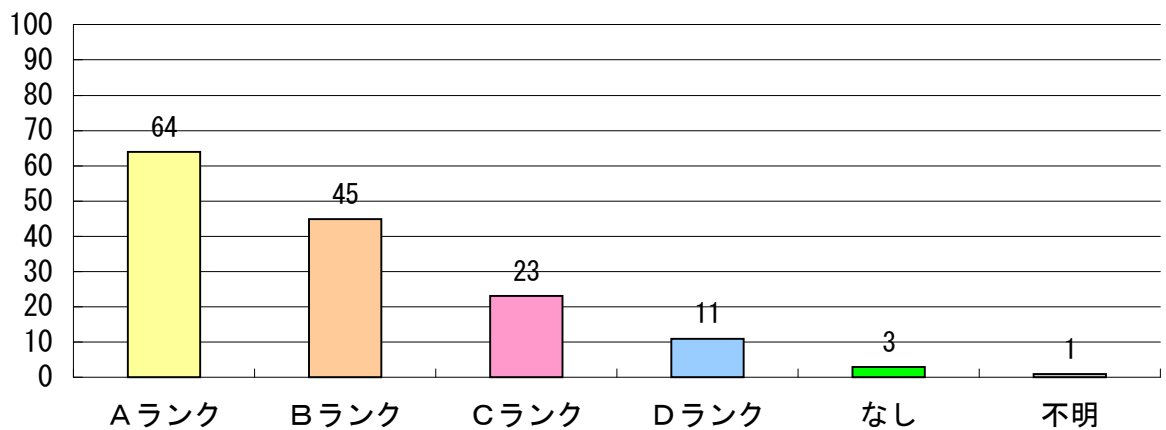
1. 入札の資格登録情報等について

1) 登録している工種の数について (全147社)

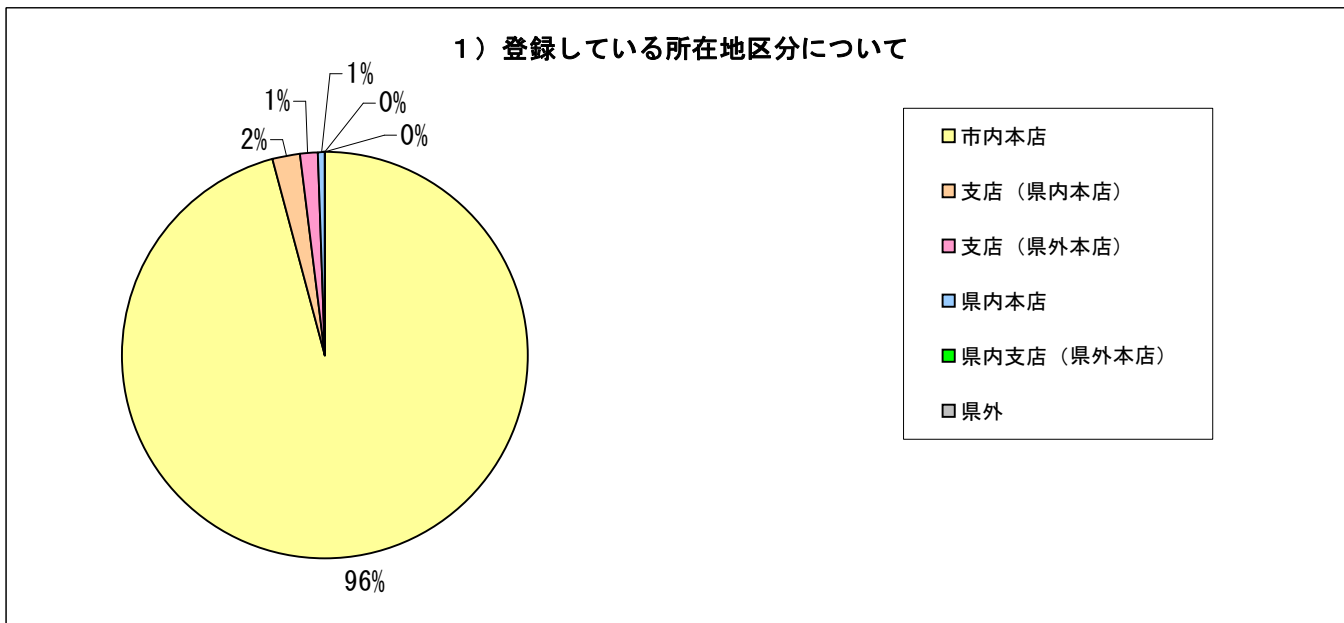
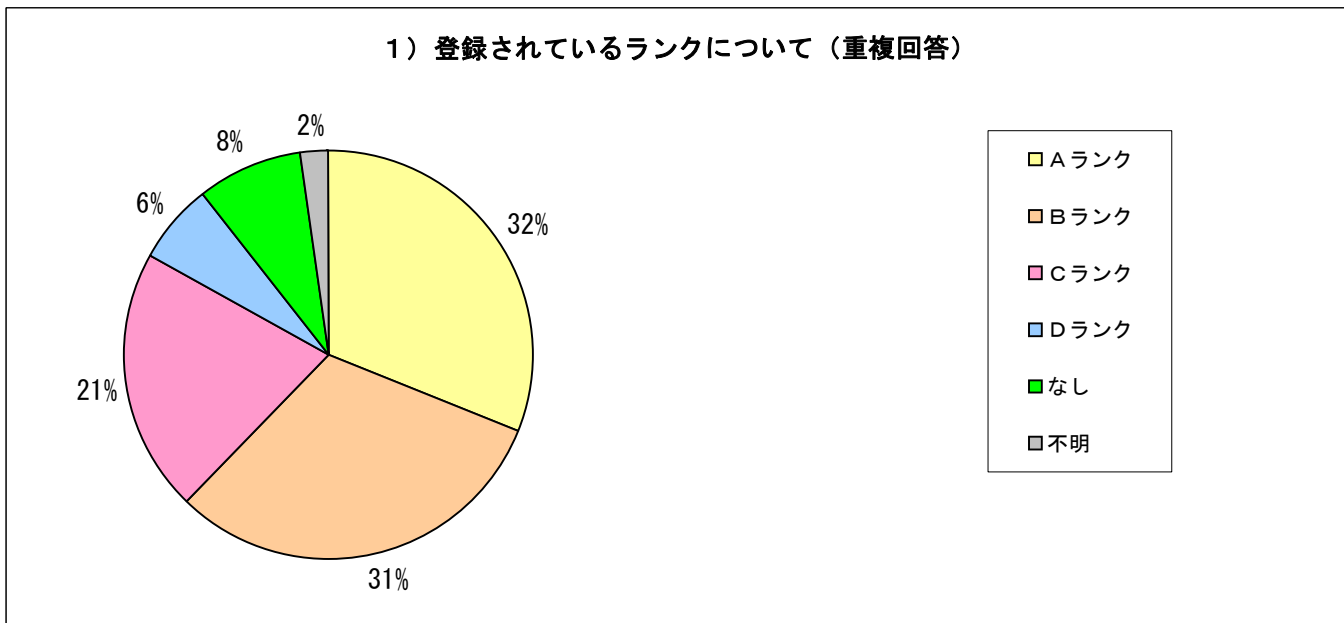
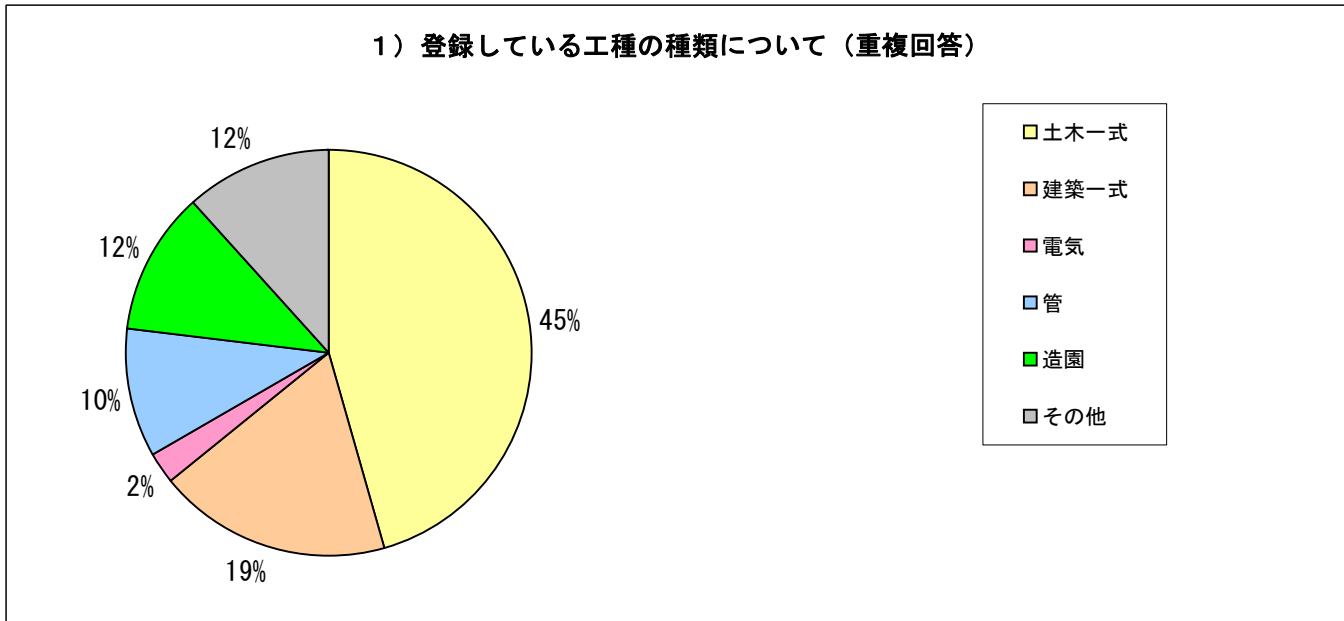


※工種は、土木一式、建築一式、電気、管、造園、その他のいずれかによる。

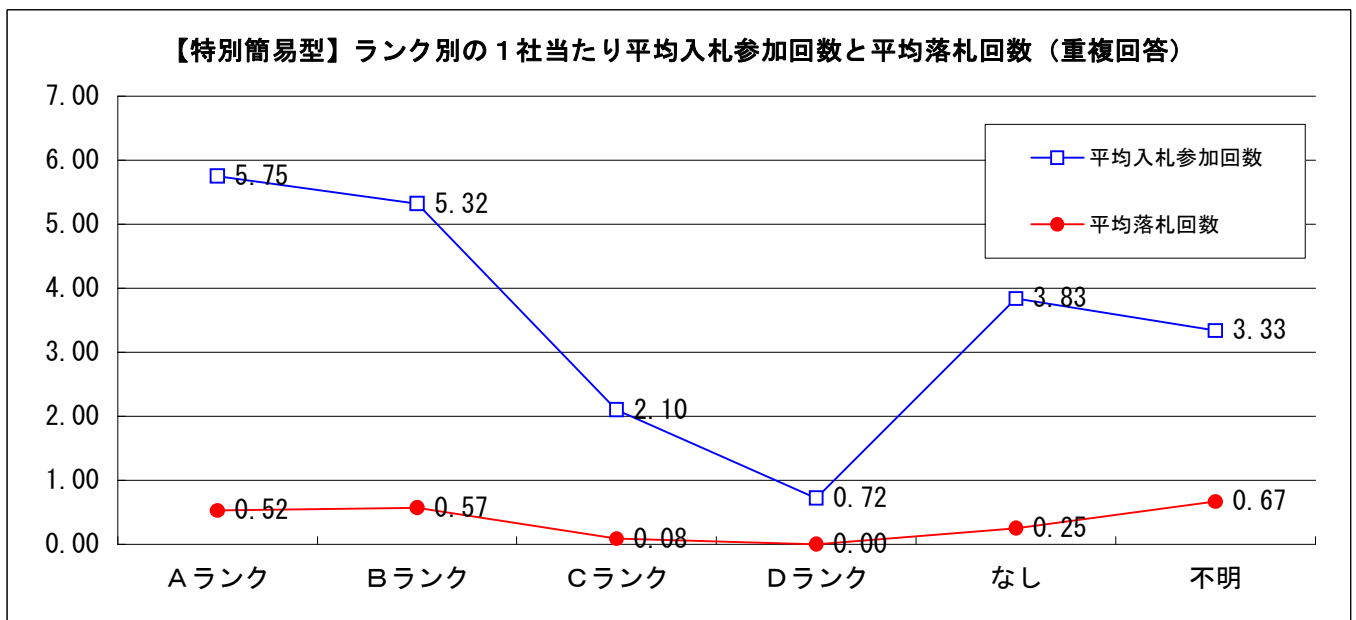
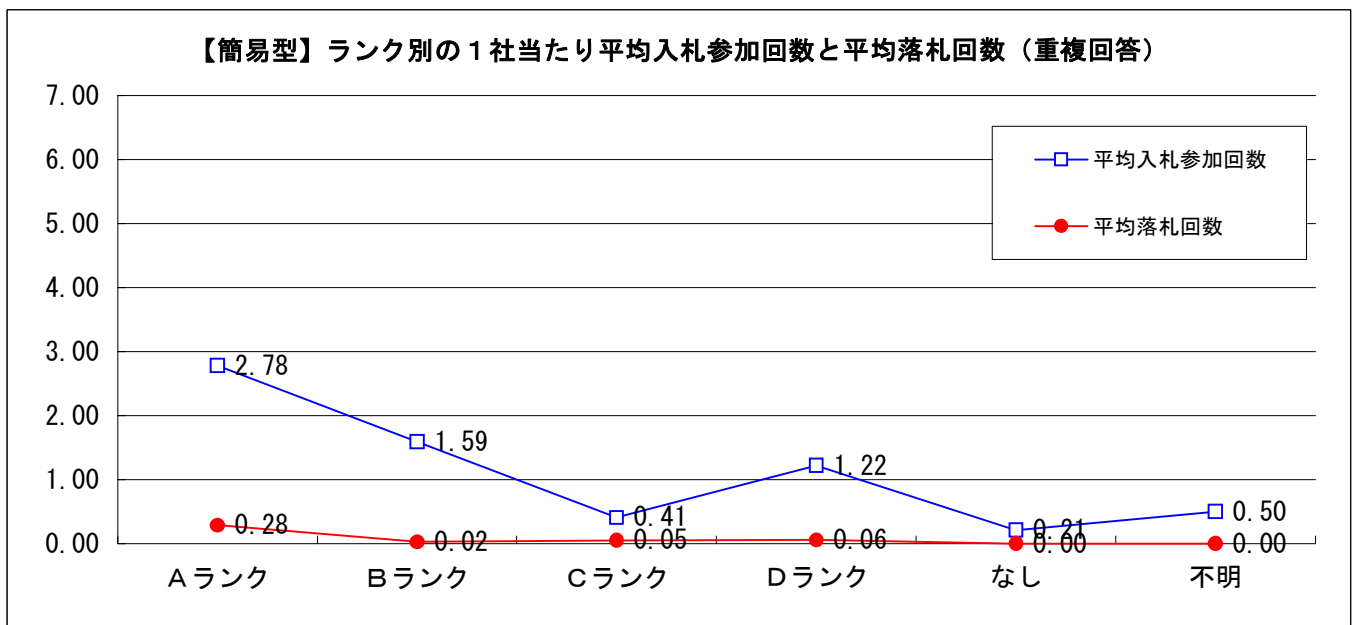
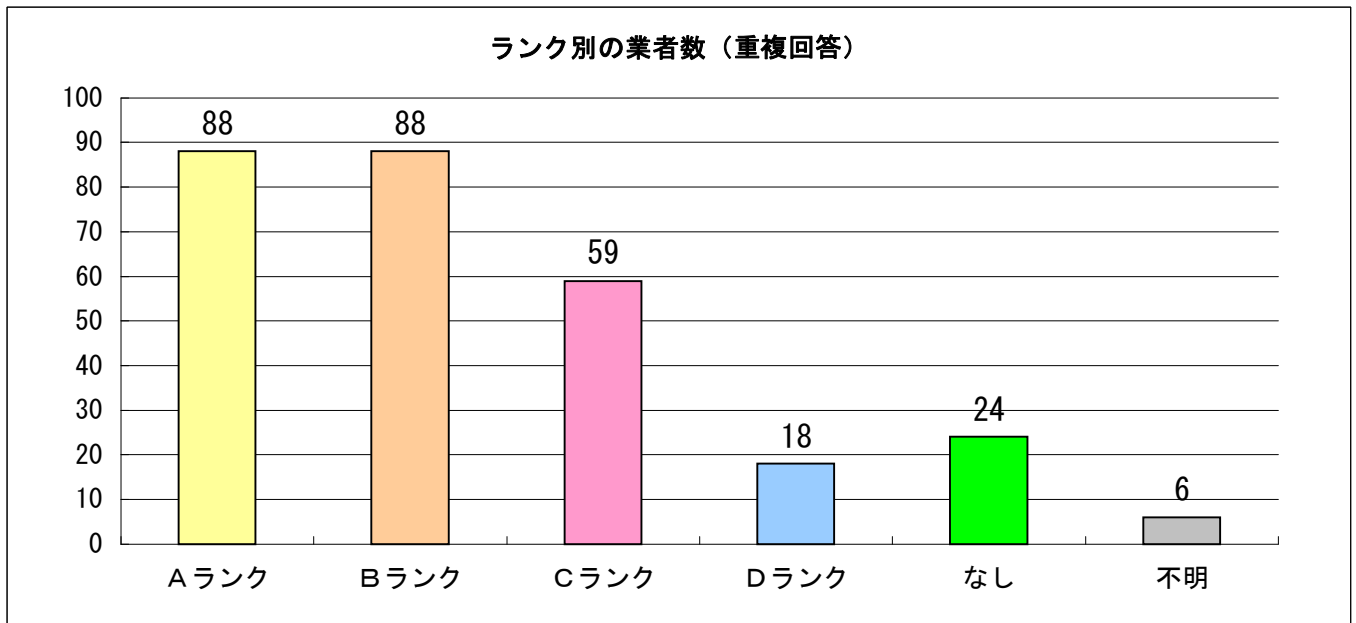
1) 登録している工種のランクのうち最も上位ランクで集計した業者数 (全147社)



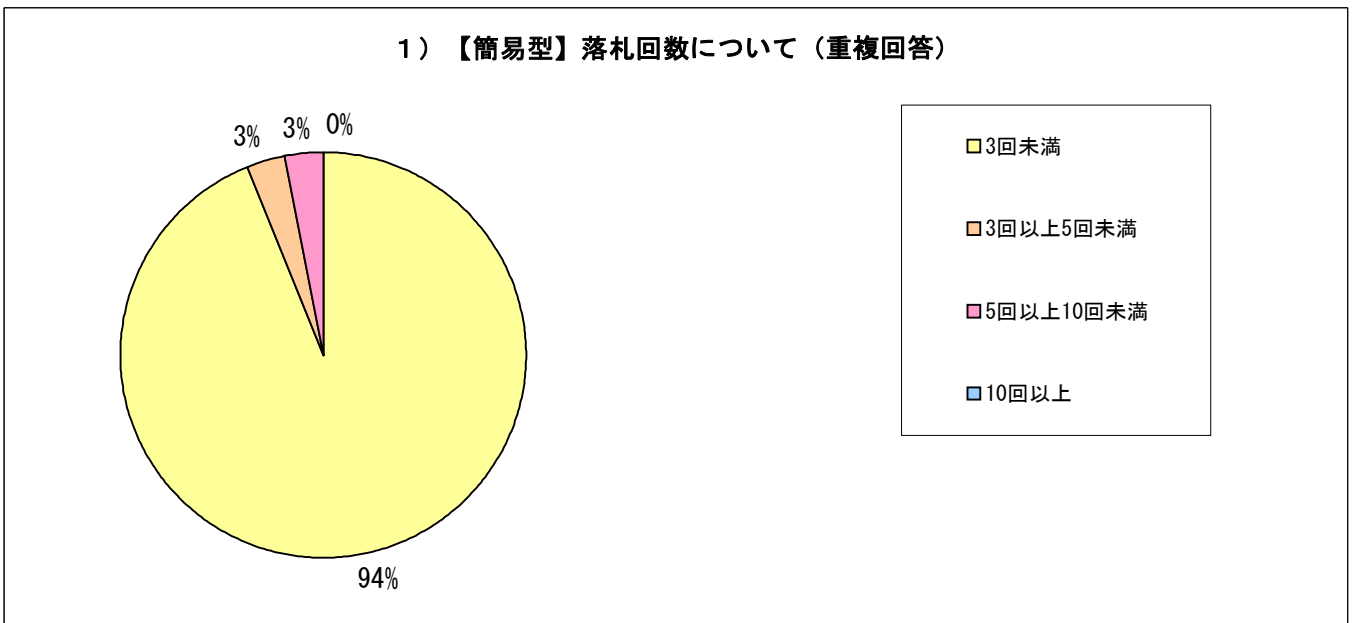
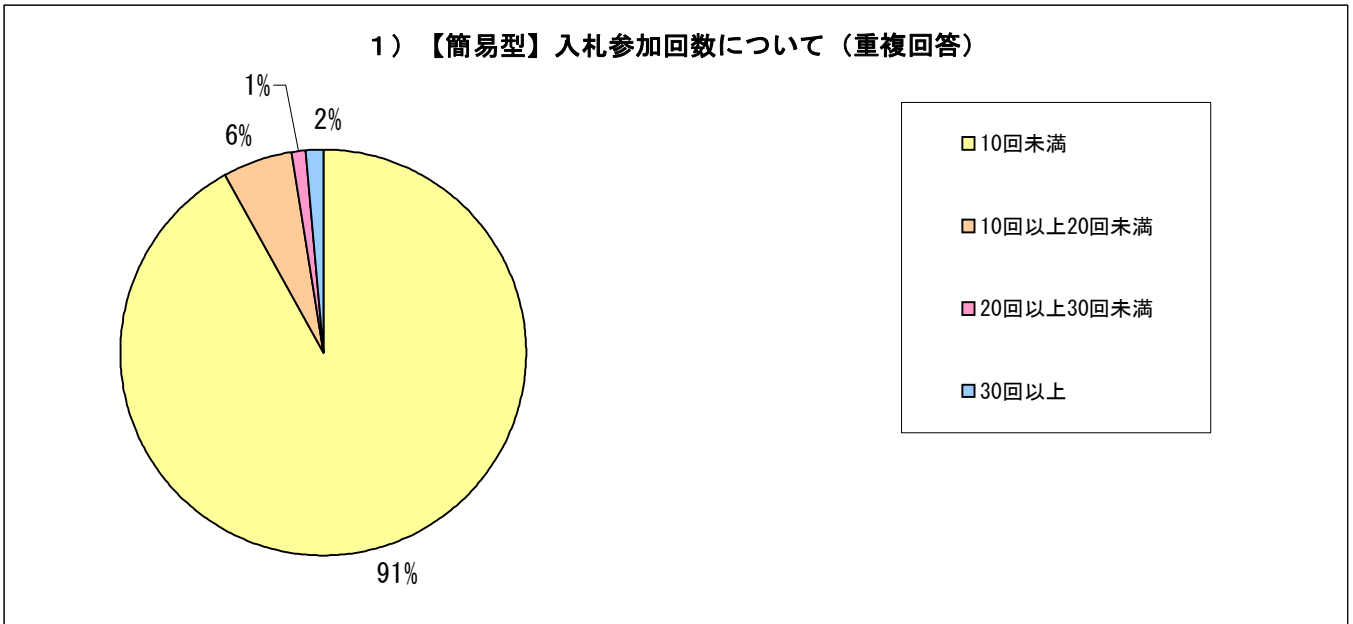
1. 入札の資格登録情報等について



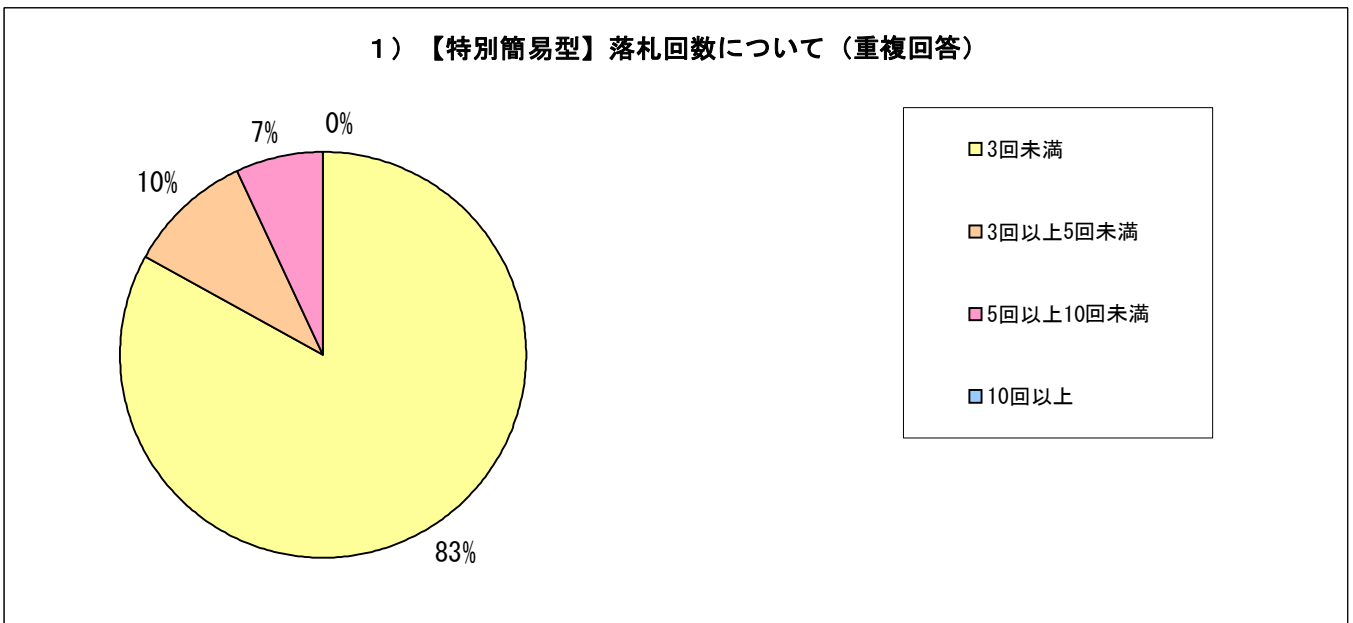
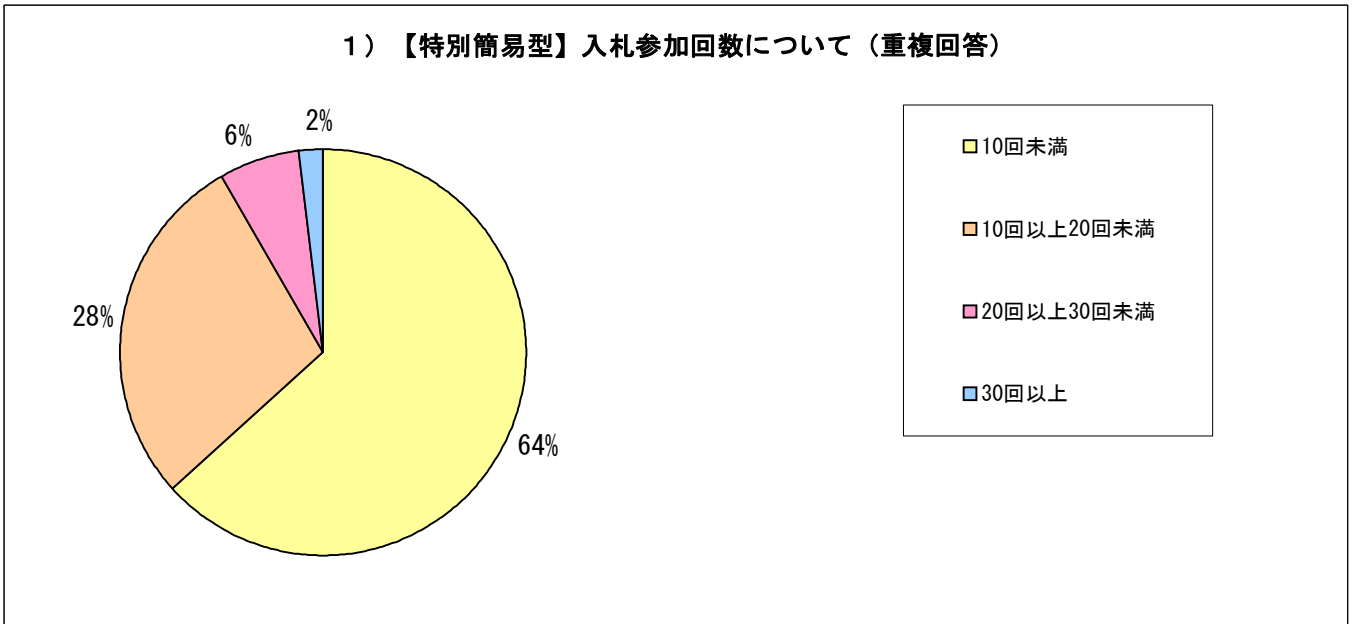
○ランク別の分析結果



1. 入札の資格登録情報等について（参加回数とその内落札回数）

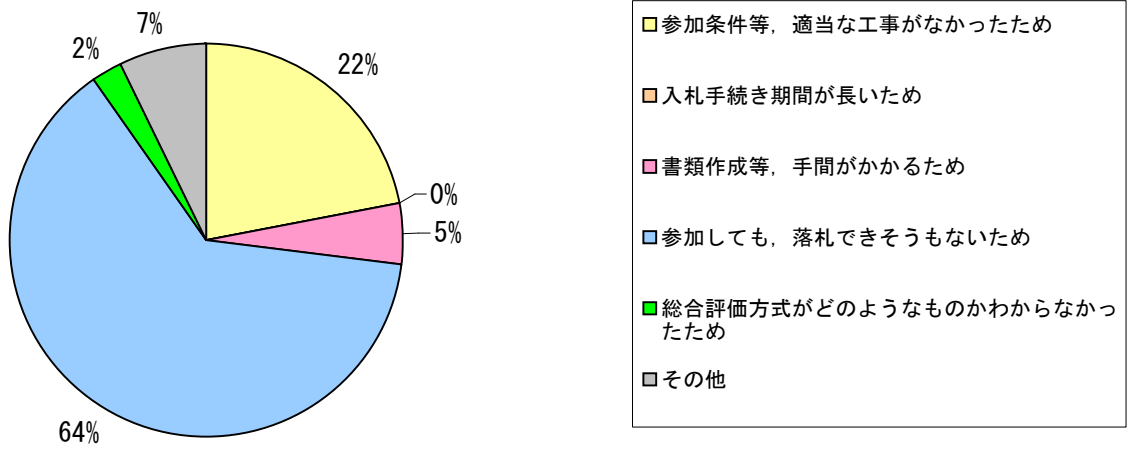


1. 入札の資格登録情報等について（参加回数とその内落札回数）



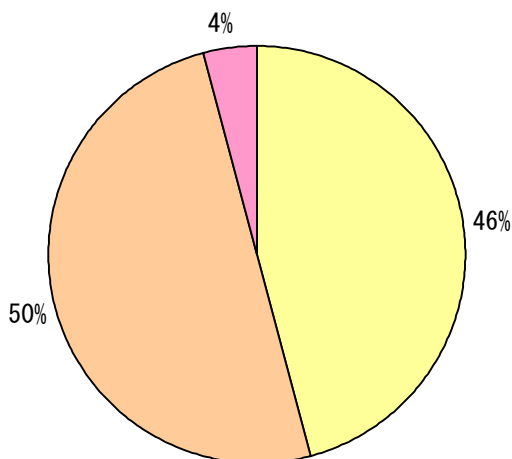
1. 入札の資格登録情報等について（参加回数とその内落札回数）

2) 総合評価方式に参加したことのない理由は何ですか？



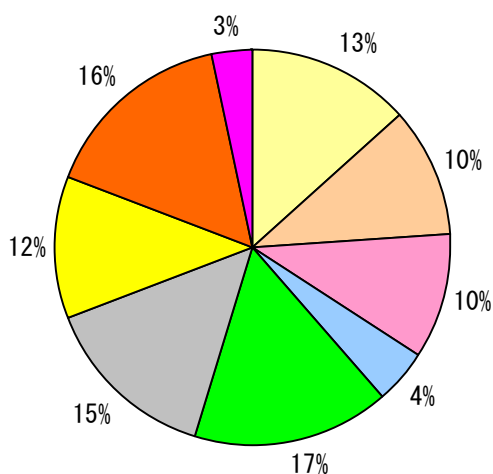
2. 総合評価方式の意義等

1) 総合評価方式の意義等についてどう思いますか？



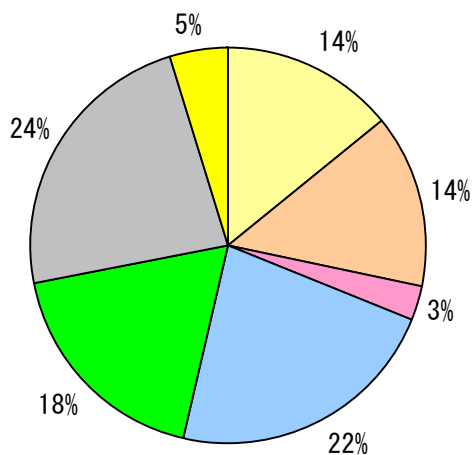
- 必要なことだと思う。
- ある程度理解する。
- そうとは思わない。

2) 従来の方式に比べ総合評価方式のメリットは何だと思いますか？（複数回答）



- 工事实績等を評価項目としていることから、実績のある業者が参入しやすい。
- 自己評価や技術提案に関わることで、これまで以上に技術者の品質確保に対する意識改革が図られる。
- 客観的な優良性等を評価項目としていることから、小規模業者が参入しづらい。
- 技術力の向上が図られる。
- 不良・不適格業者の排除がこれまで以上に可能。
- 価格以外の要素を評価することによりこれまで以上にダンピングを防止できる。
- 工事实績等を評価項目としていることから、新規業者が参入しづらい。
- 低価格入札を助長する。
- 自己評価や技術提案に多くの時間を要する。
- 書類作成等の事務が煩雑になる。
- その他

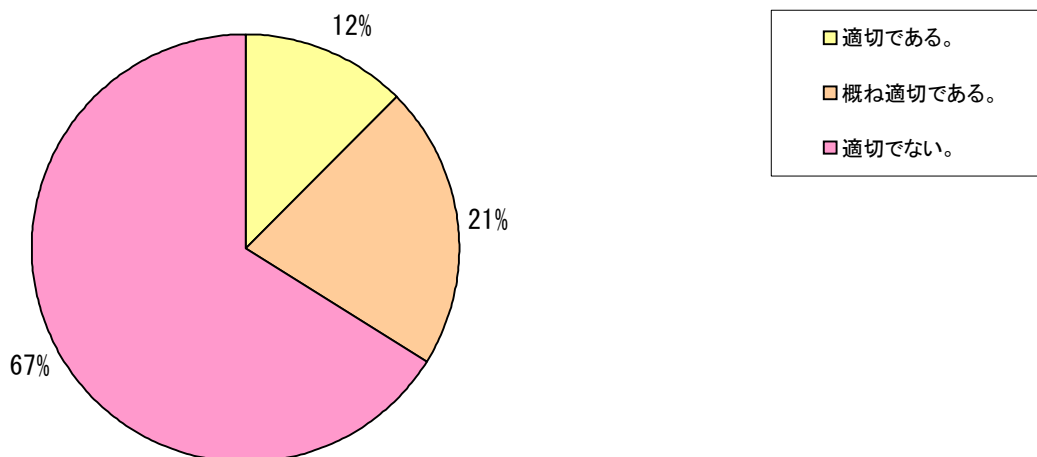
3) 従来の方式に比べ総合評価方式のデメリットは何だと思いますか？（複数回答）



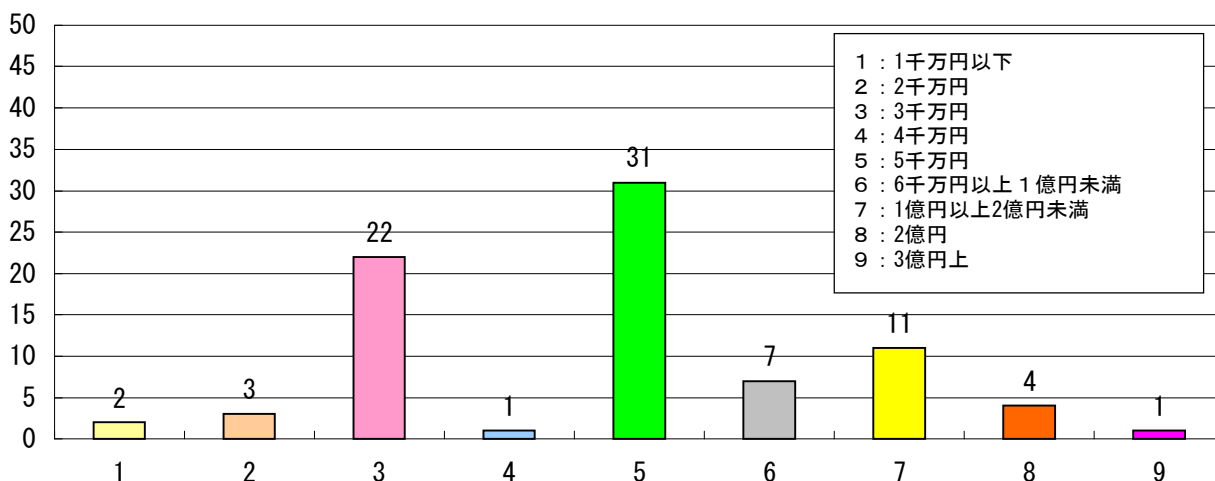
- 自己評価や技術提案に多くの時間を要する。
- 書類作成等の事務が煩雑になる。
- 低価格入札を助長する。
- 工事实績等を評価項目としていることから、新規業者が参入しづらい。
- 客観的な優良性等を評価項目としていることから、小規模業者が参入しづらい。
- 技術評価点により、落札業者がある程度予想できる。
- その他

3. 総合評価方式の試行の対象となる工事等について

1) 現在予定価格1千万円以上の工事について試行していますが、この価格についてどう思いますか？



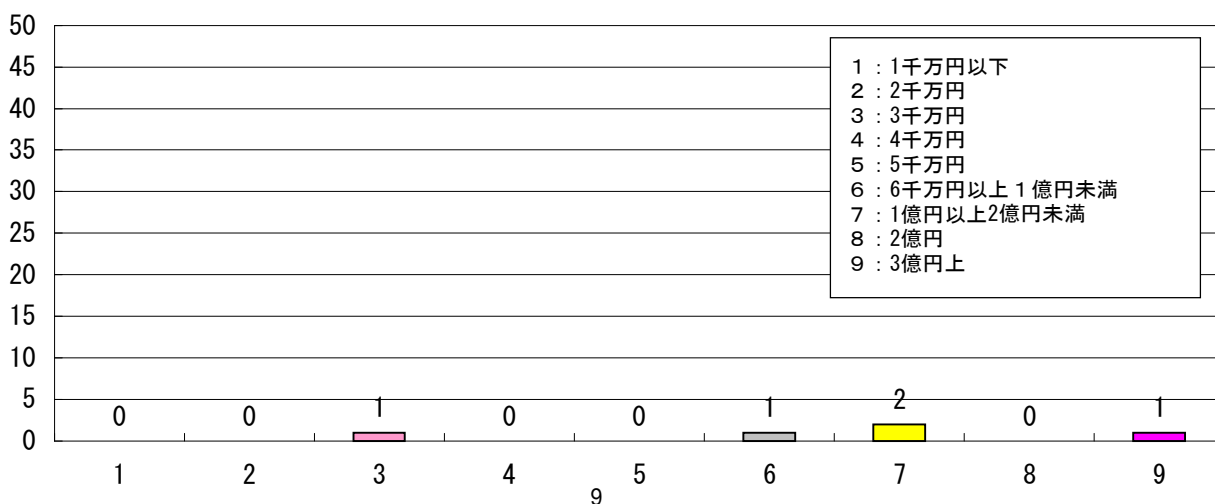
2) 【土木】上記の問いで「適切」でない場合、適切と思われる予定価格の最低価格は？（業者数）



※上記で適切と思われる予定価格の最低価格が5千万円である主な理由：

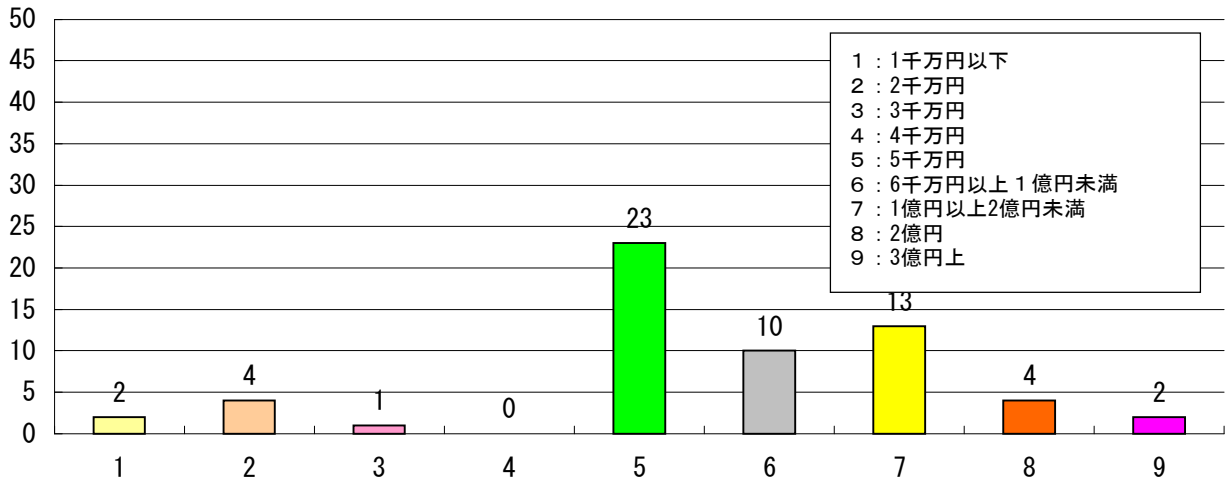
- ・ 価格及び品質が総合的に優れた内容の工事価格である。
- ・ 契約課発注工事の対象予定価格である。

2) 【土木】上記の問いで上限価格が必要と考えられる場合の価格は？（業者数）



3. 総合評価方式の試行の対象となる工事等について

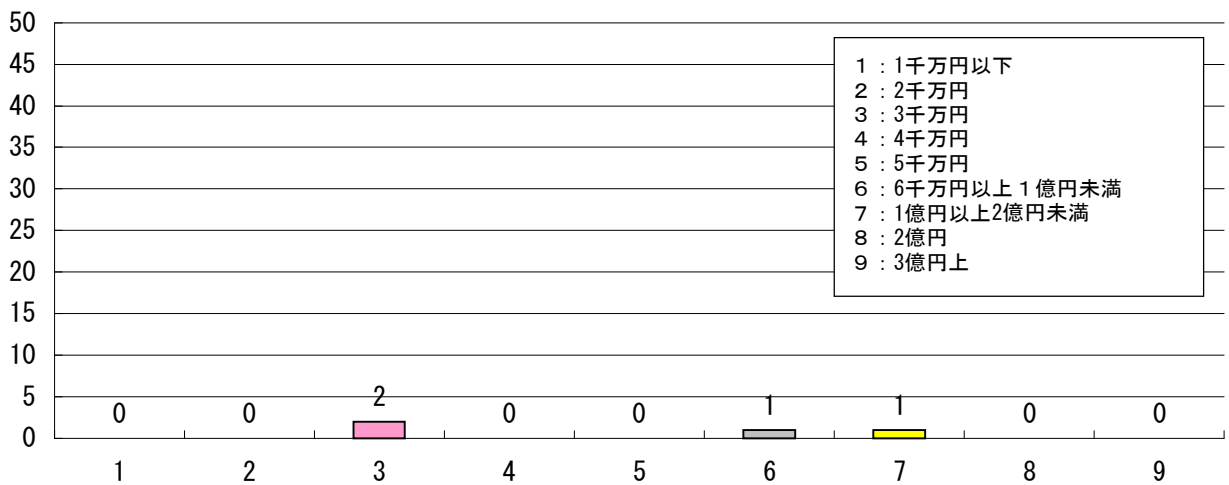
2) 【建築】上記の問いで「適切」でないと回答した場合、適切と思われる
 予定価格の最低価格は？（業者数）



※上記で適切と思われる予定価格の最低価格が5千万円である主な理由：

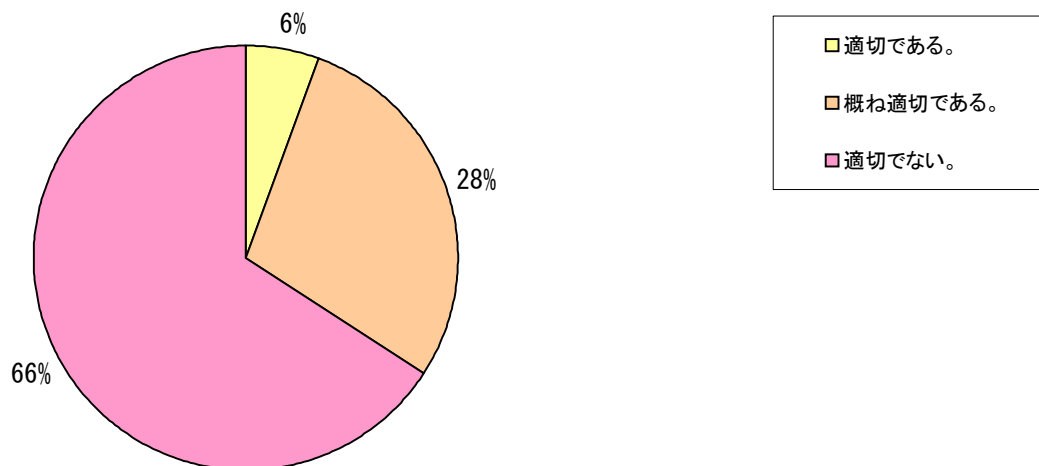
- ・ 価格及び品質が総合的に優れた内容の工事価格である。
- ・ 契約課発注工事の対象予定価格である。
- ・ 建設業法で、監理技術者等の専任が必要な工事価格である。

2) 【建築】上記の問いで上限価格が必要と考えられる場合の価格は？（業者数）

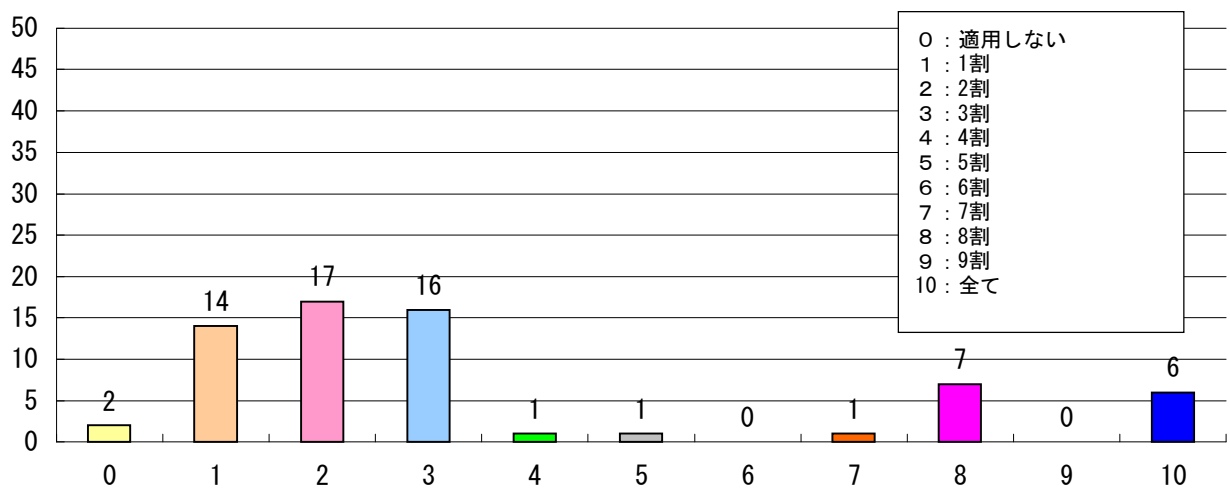


3. 総合評価方式の試行の対象となる工事等について

3) 今年度の試行件数の目標を一般競争入札（予定価格1千万円以上）の5割程度としていますがこの割合についてどう思いますか？



4) 上記の問いで「適切でない」と回答した方にお聞きします。
目標件数は、一般競争入札件数の何割が適切だと思いますか？（業者数）

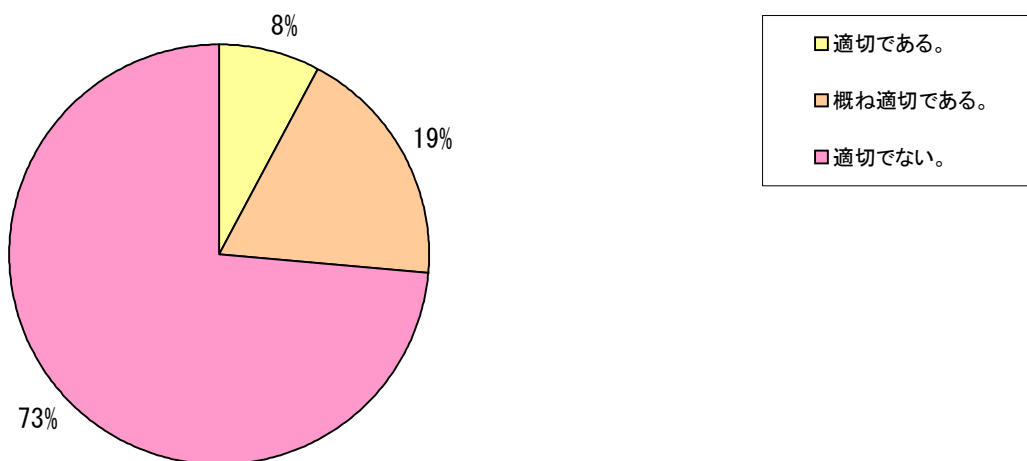


※一般競争入札の1～3割が適切だと思う主な理由：

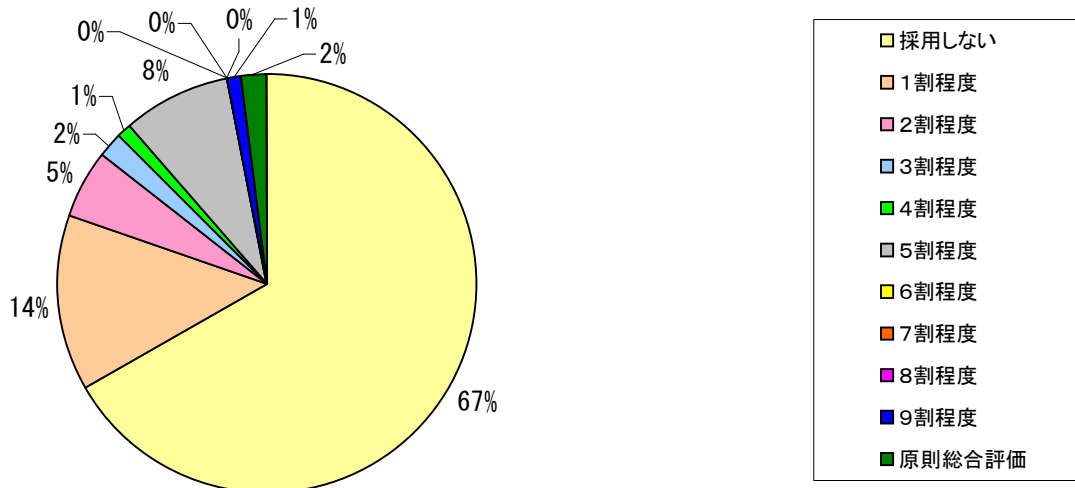
- ・ 現行では、落札業者がある程度限定され、技術点の低い中・小規模企業が落札できないため、中・小規模業者にもある程度受注機会が与えられる割合である。

5) 【土木】総合評価方式を採用する予定価格とその割合の目安について

【土木】1千万円以上3千万円未満の概ね3割程度採用について

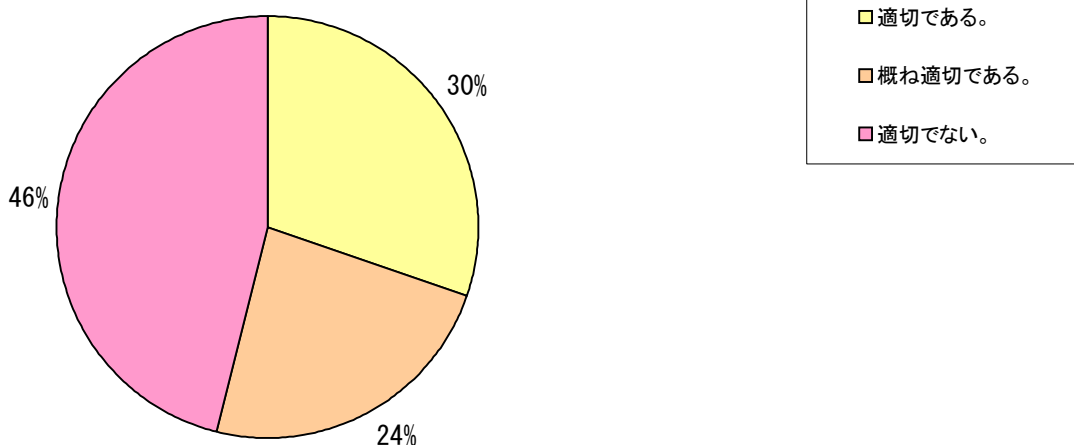


上記の問いで「適切でない」と回答した場合、適切と思われる割合は？

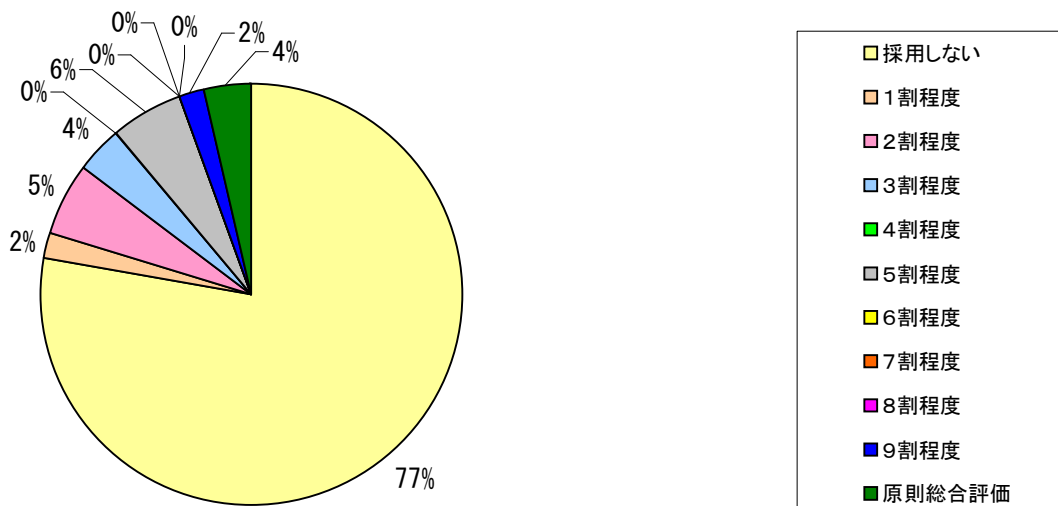


5) 【土木】総合評価方式を採用する予定価格とその割合の目安について

【土木】1千万円台の工事はの”出来るだけ選定しない”について

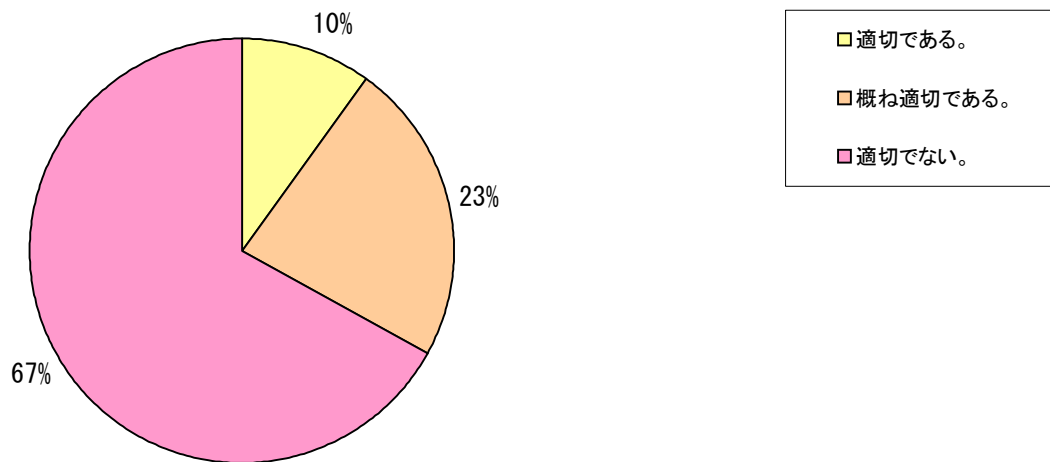


上記の問いで「適切でない」と回答した場合、適切と思われる割合は？

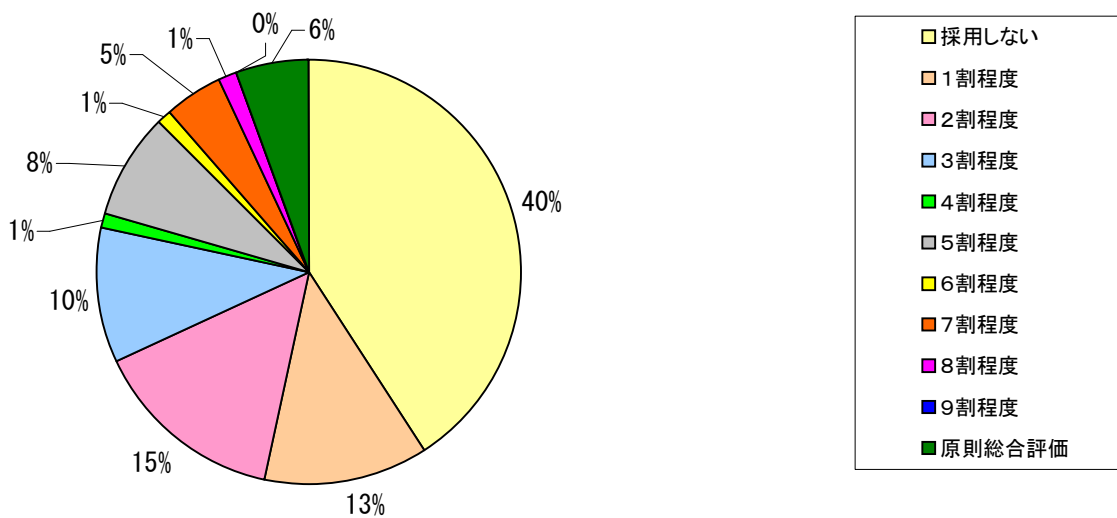


5) 【土木】総合評価方式を採用する予定価格とその割合の目安について

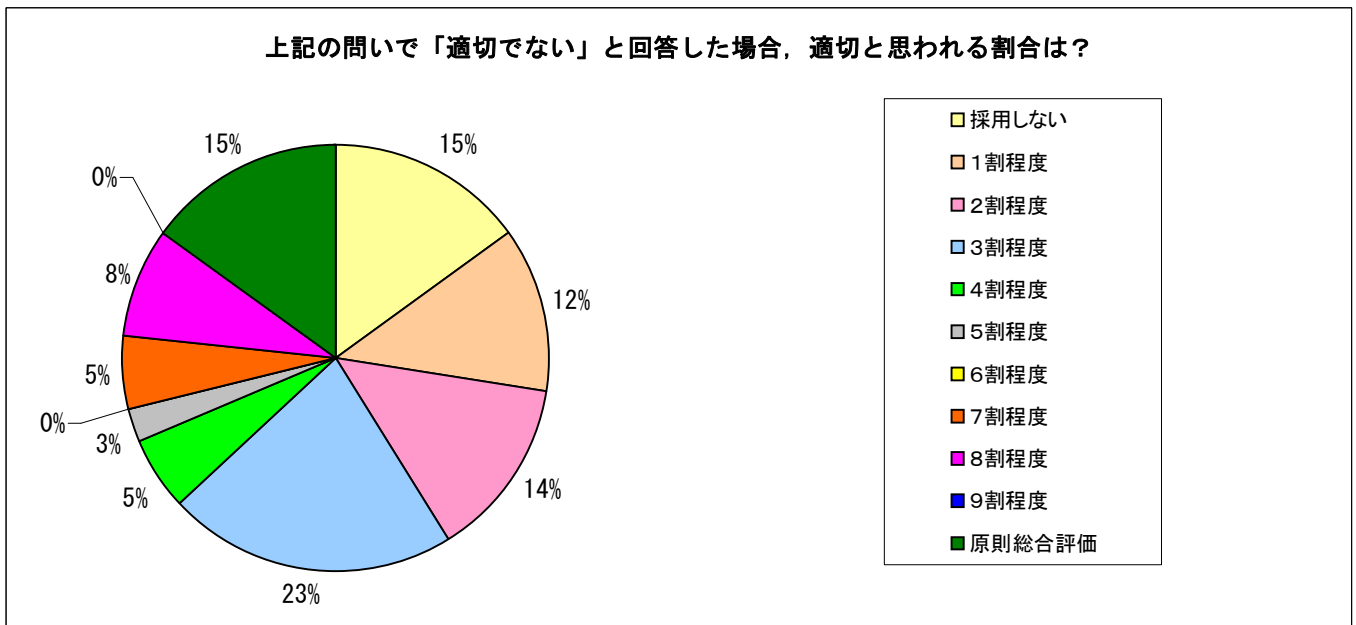
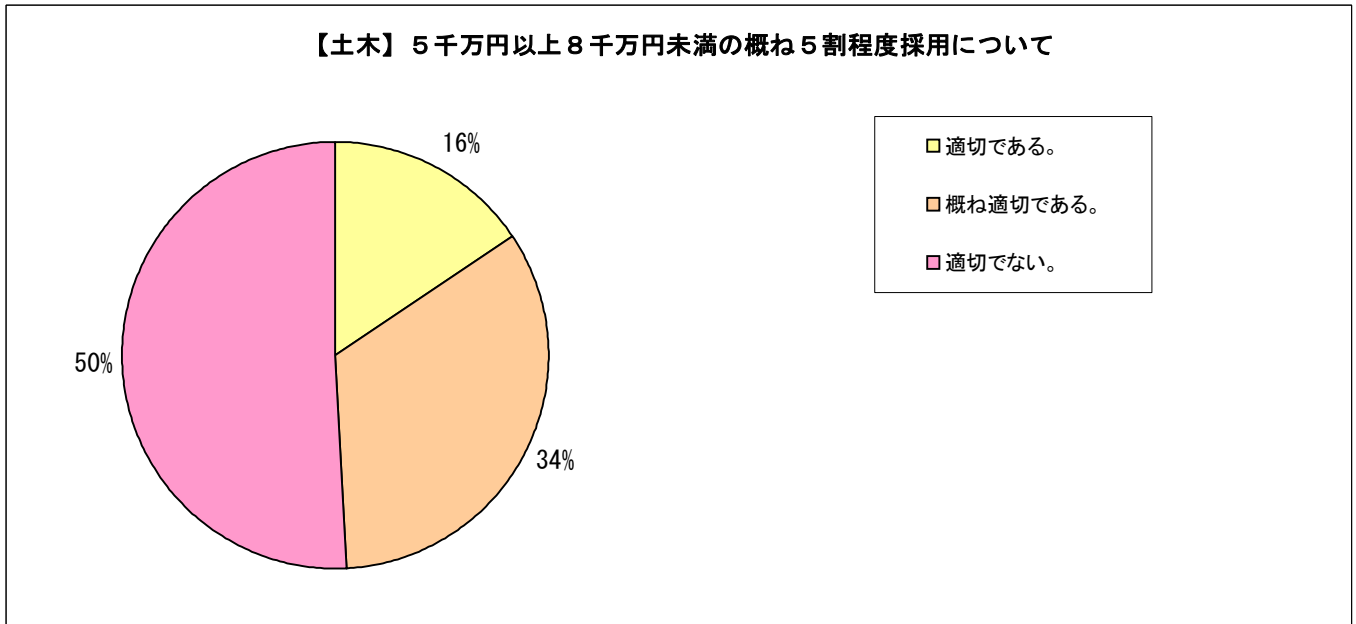
【土木】3千万円以上5千万円未満の概ね4割程度採用について



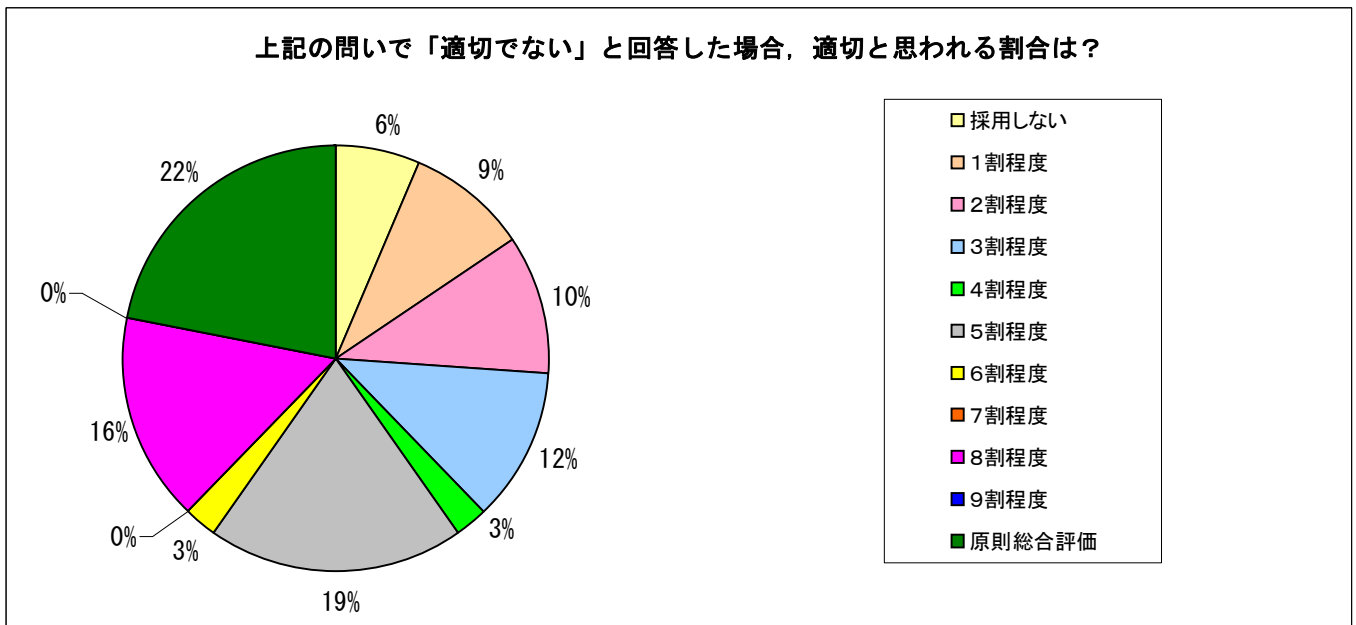
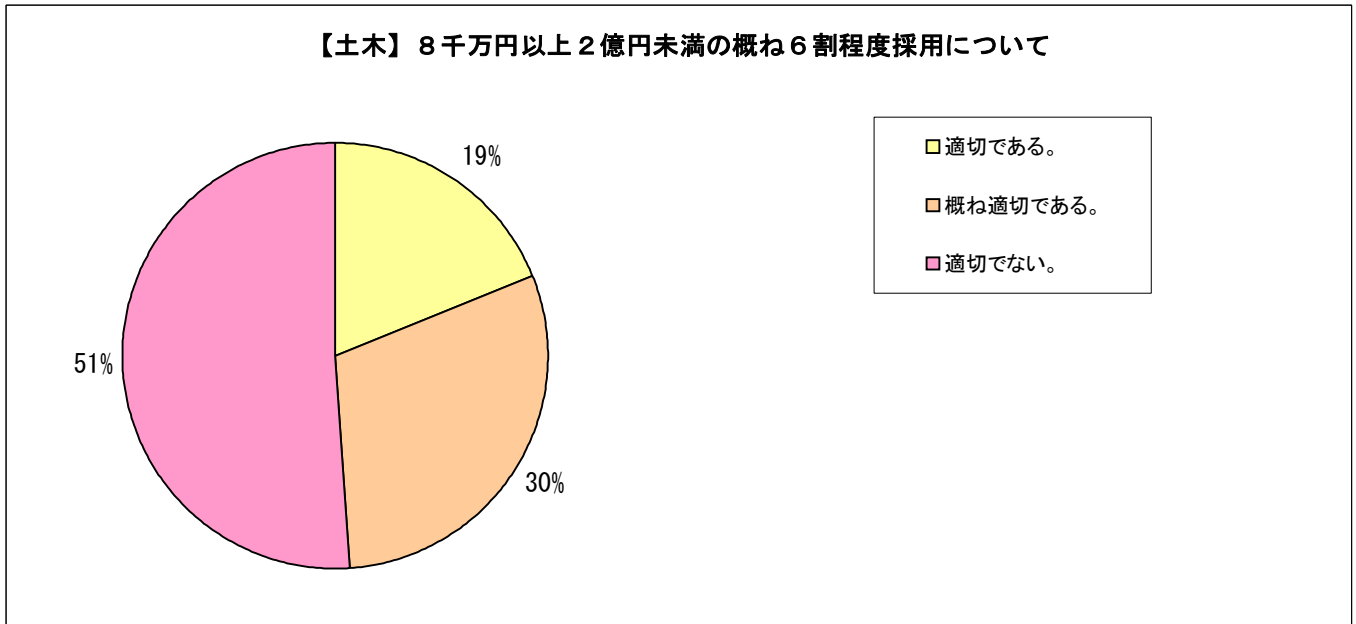
上記の問いで「適切でない」と回答した場合、適切と思われる割合は？



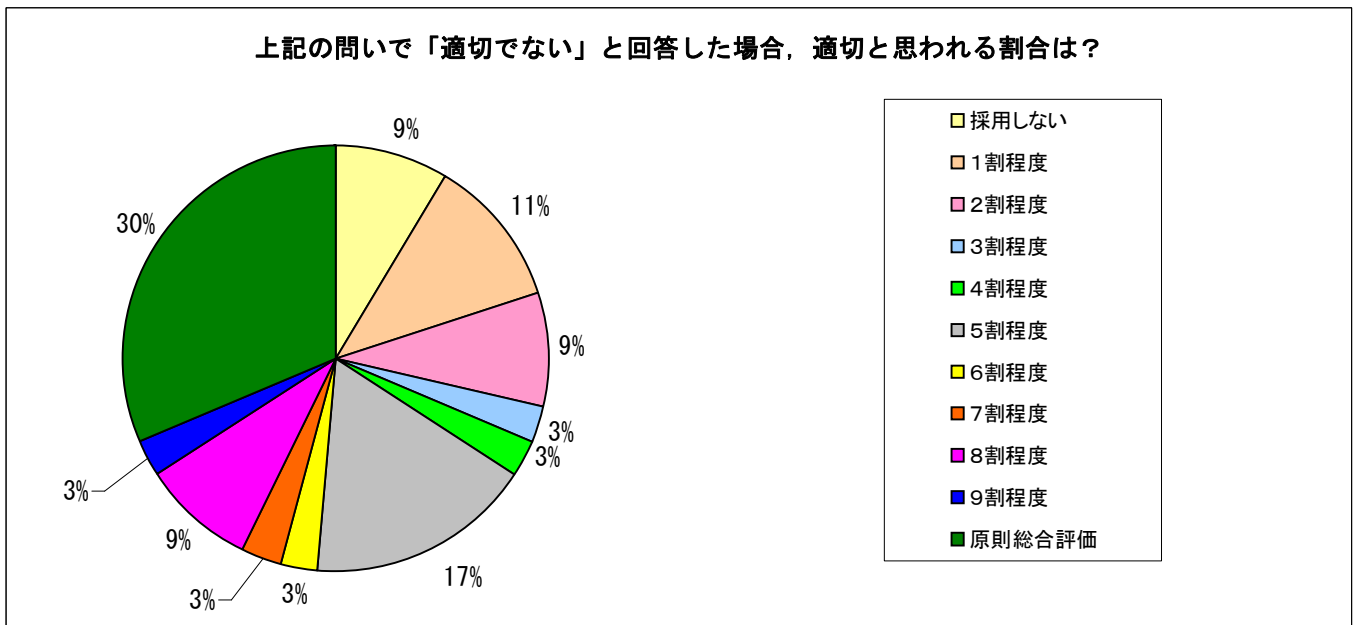
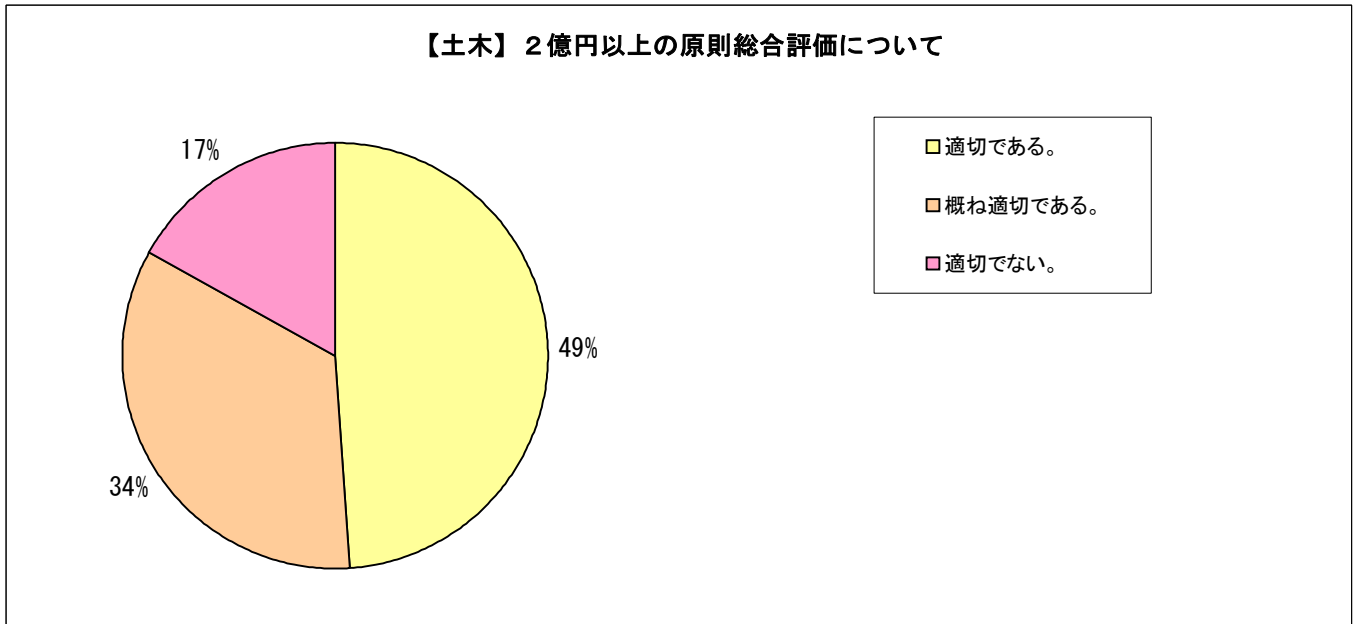
5) 【土木】総合評価方式を採用する予定価格とその割合の目安について



5) 【土木】総合評価方式を採用する予定価格とその割合の目安について

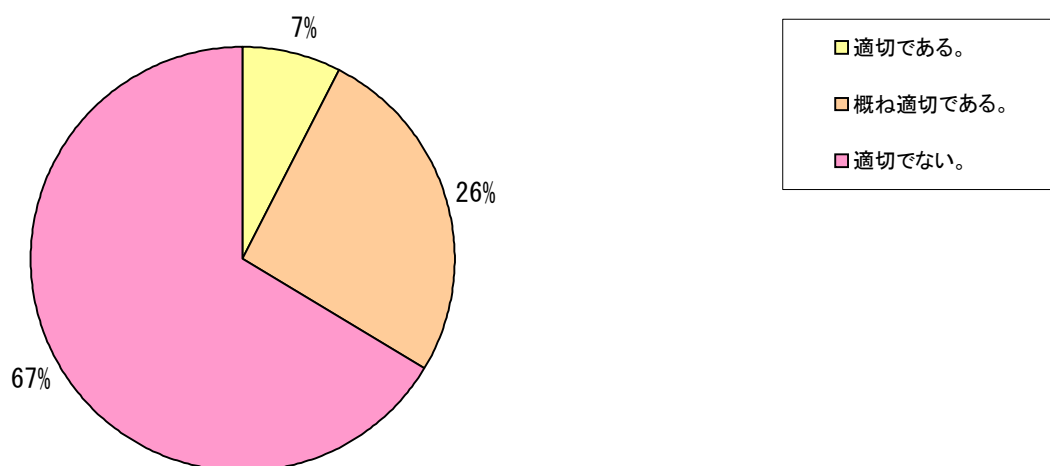


5) 【土木】総合評価方式を採用する予定価格とその割合の目安について

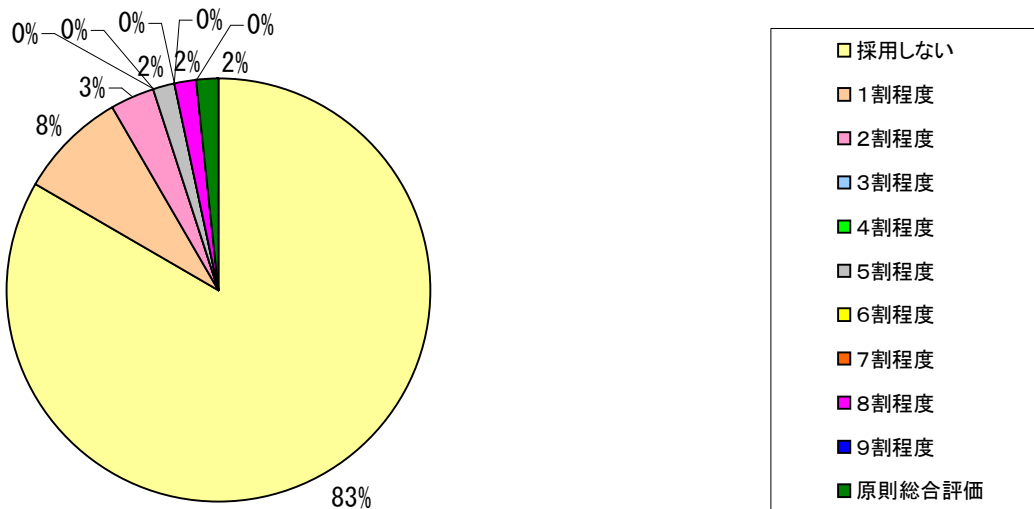


5) 【建築】総合評価方式を採用する予定価格とその割合の目安について

【建築】1千万円以上3千万円未満の概ね3割程度採用について

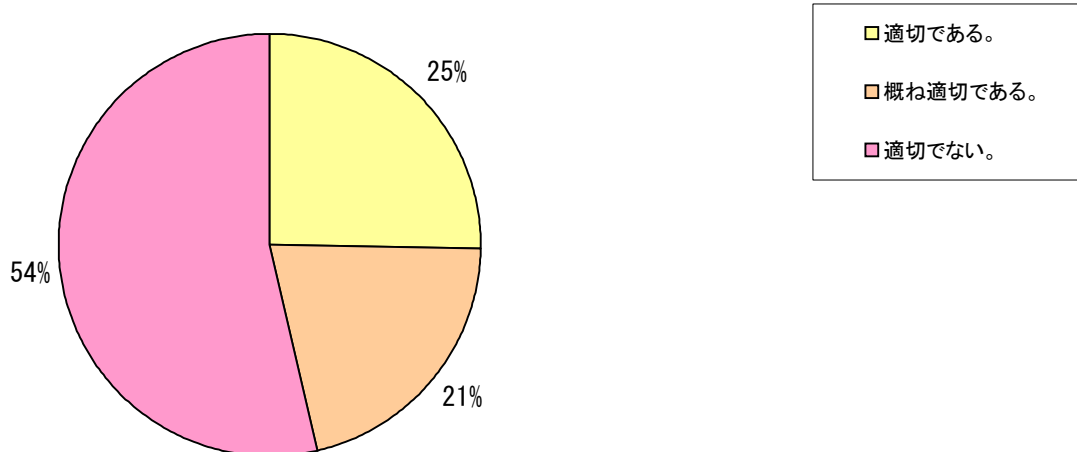


上記の問いで「適切でない」と回答した場合、適切と思われる割合は？

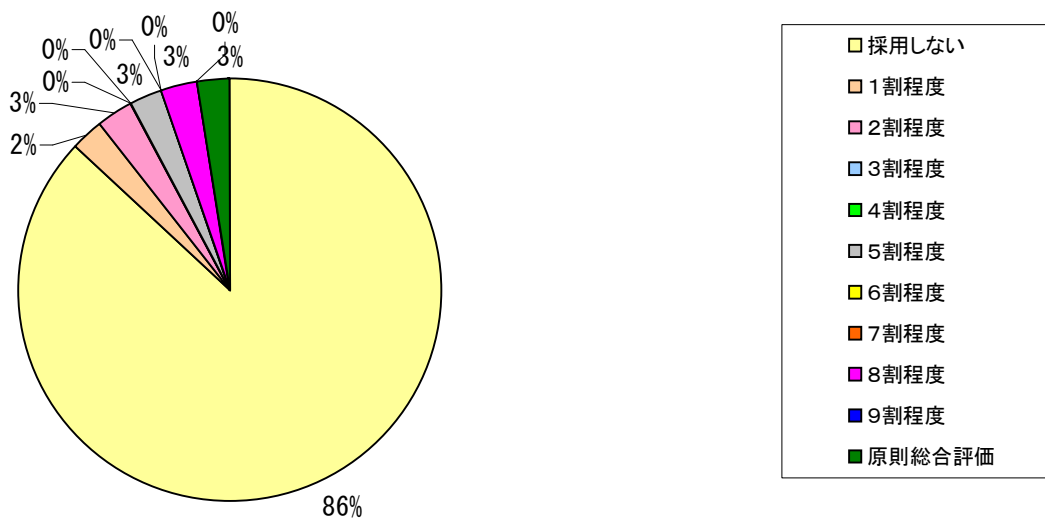


5) 【建築】総合評価方式を採用する予定価格とその割合の目安について

【建築】1千万円台の工事はの”出来るだけ選定しない”について

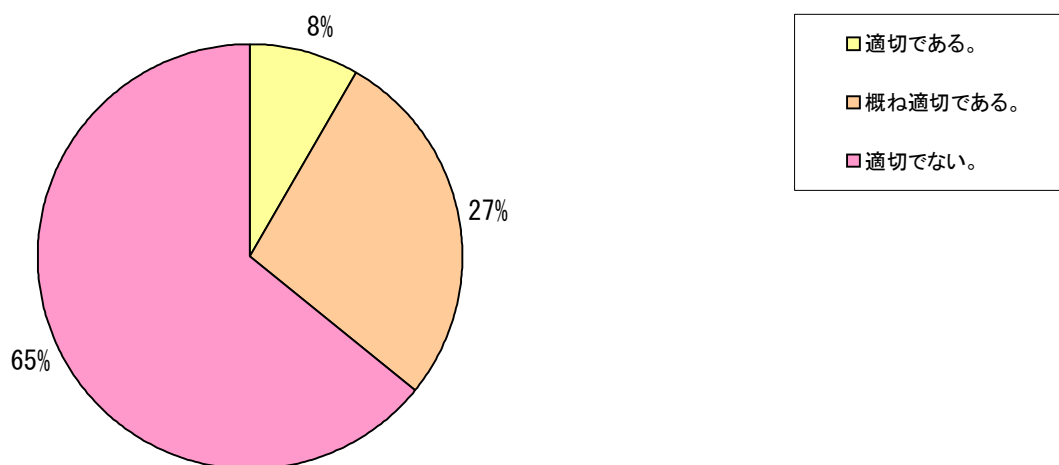


上記の問いで「適切でない」と回答した場合、適切と思われる割合は？

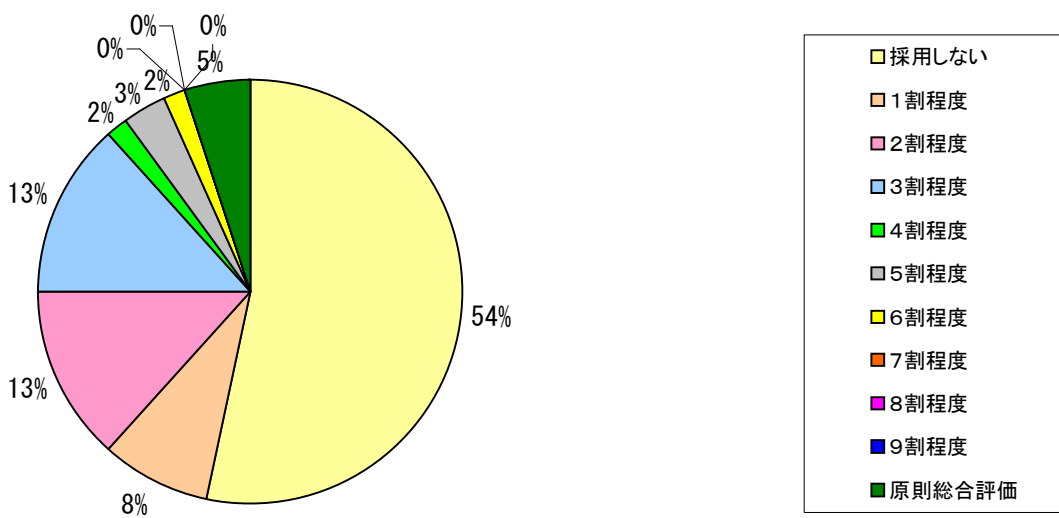


5) 【建築】総合評価方式を採用する予定価格とその割合の目安について

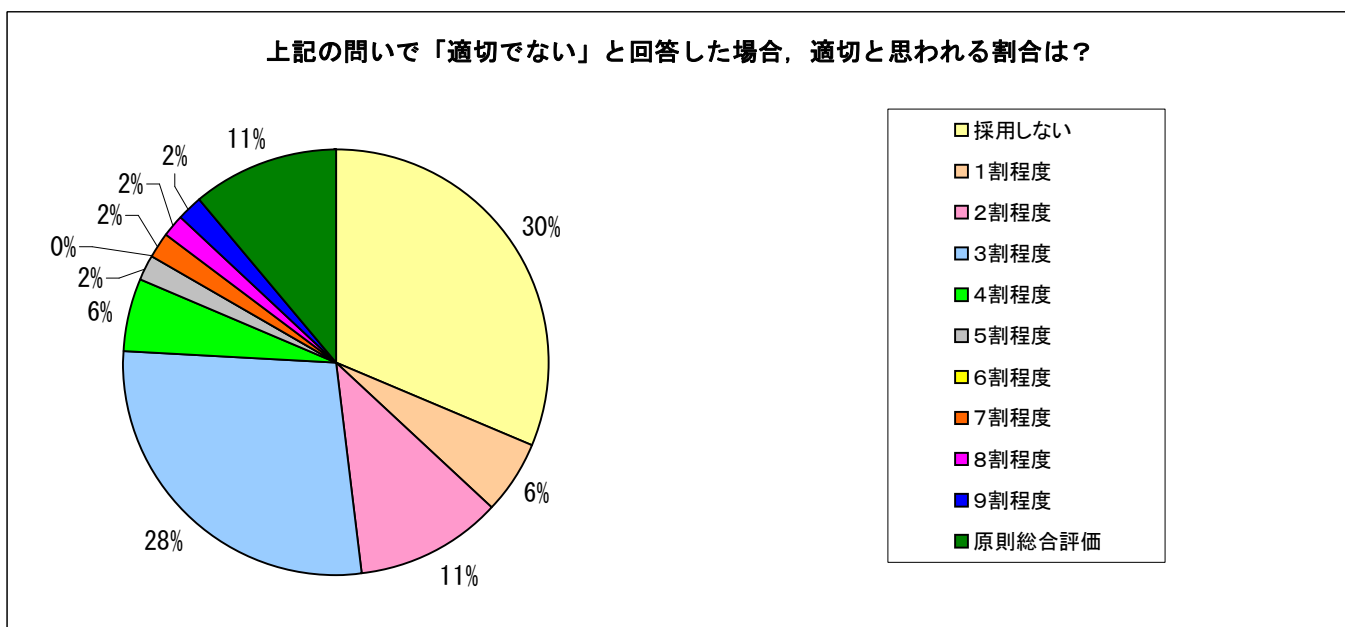
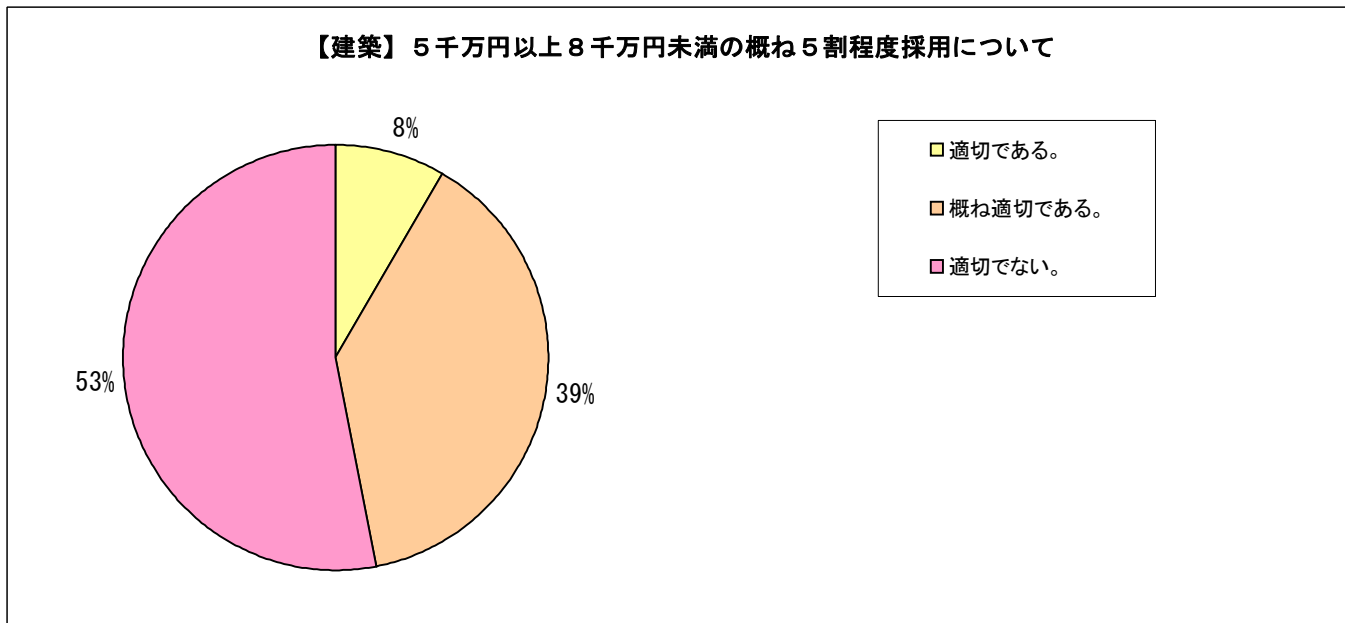
【建築】3千万円以上5千万円未満の概ね4割程度採用について



上記の問いで「適切でない」と回答した場合、適切と思われる割合は？

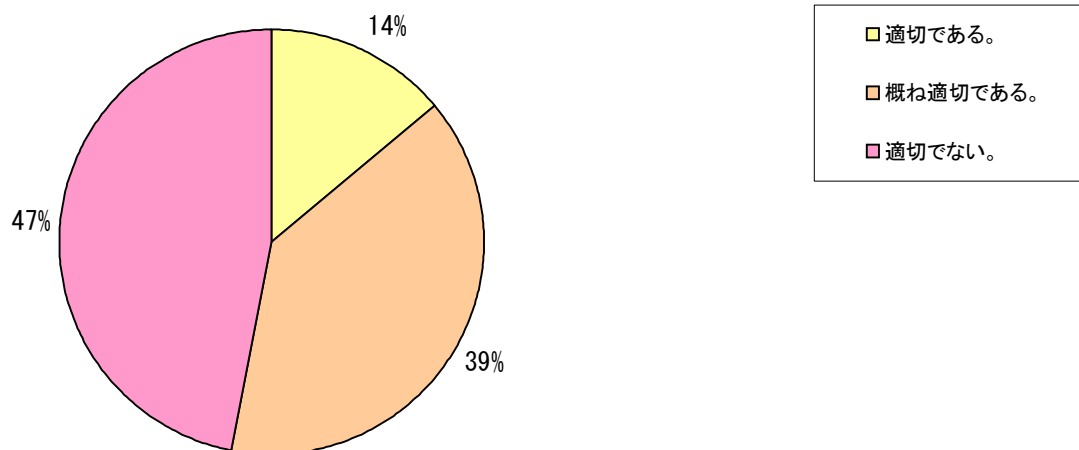


5) 【建築】総合評価方式を採用する予定価格とその割合の目安について

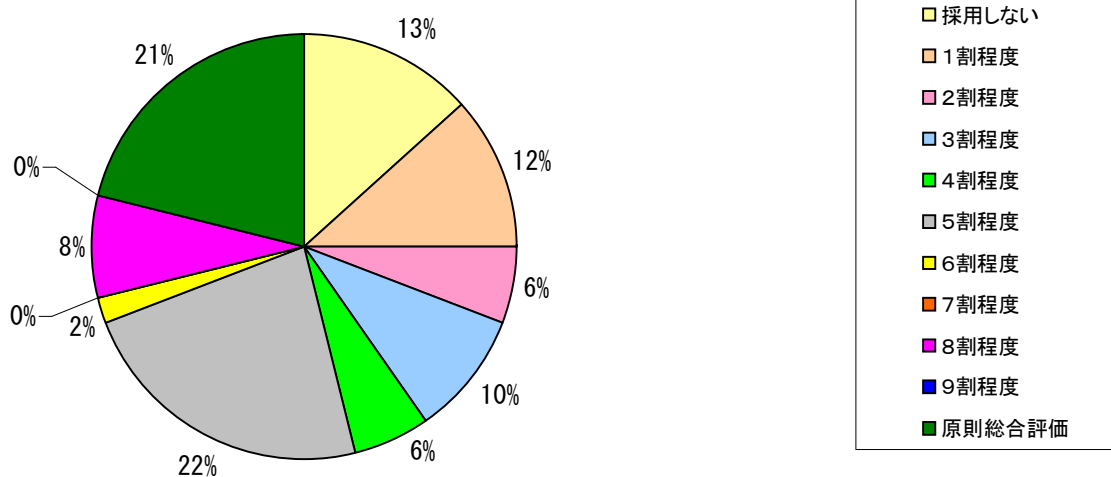


5) 【建築】総合評価方式を採用する予定価格とその割合の目安について

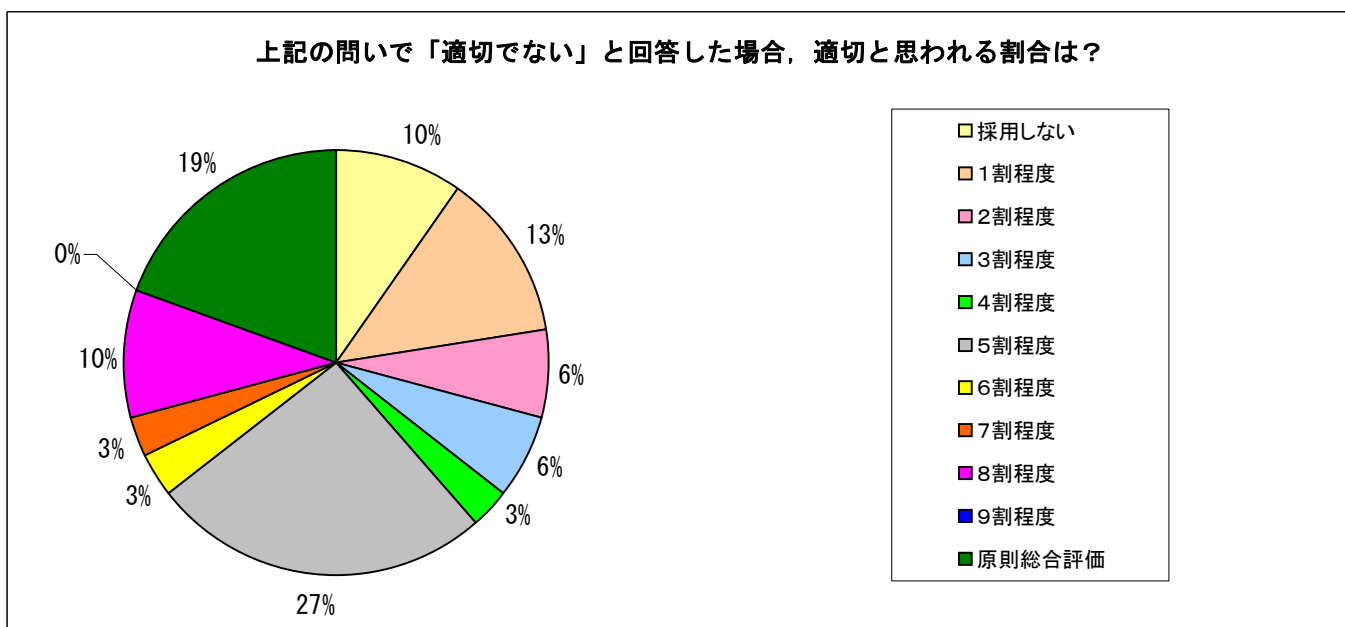
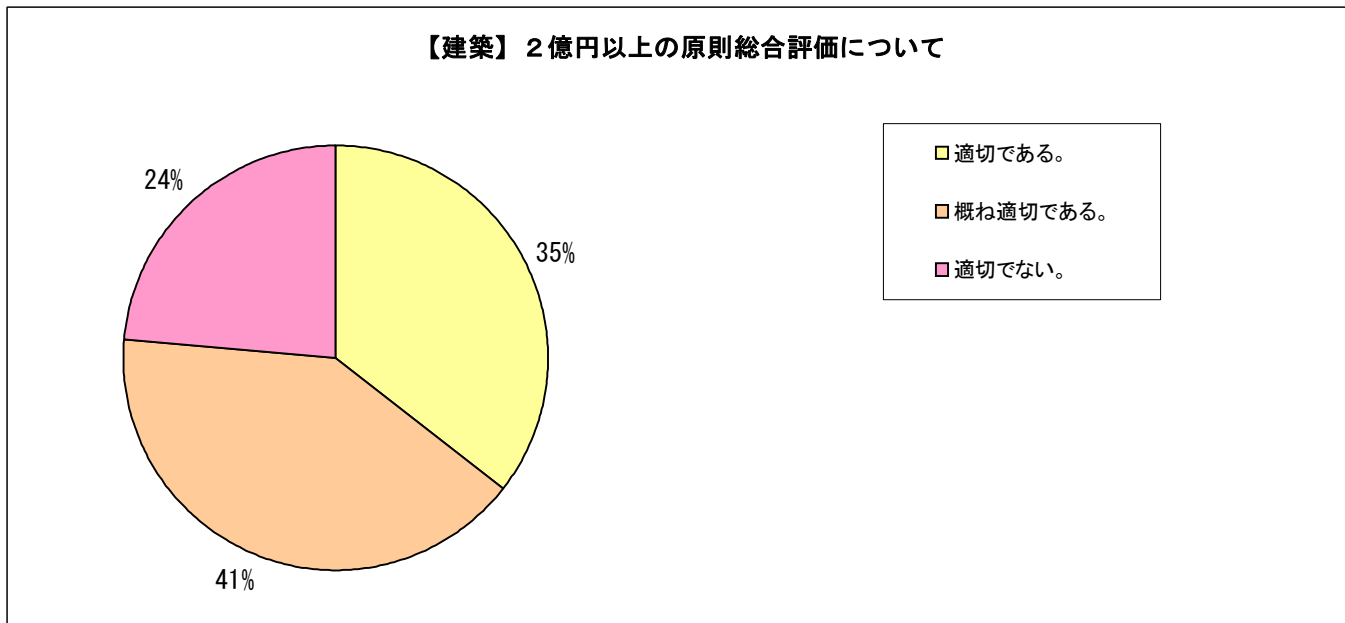
【建築】8千万円以上2億円未満の概ね6割程度採用について



上記の問いで「適切でない」と回答した場合、適切と思われる割合は？

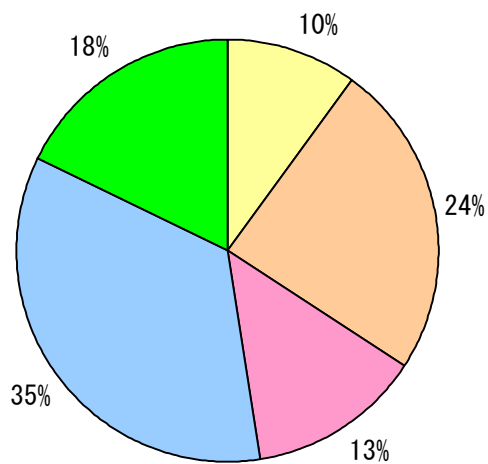


5) 【建築】総合評価方式を採用する予定価格とその割合の目安について



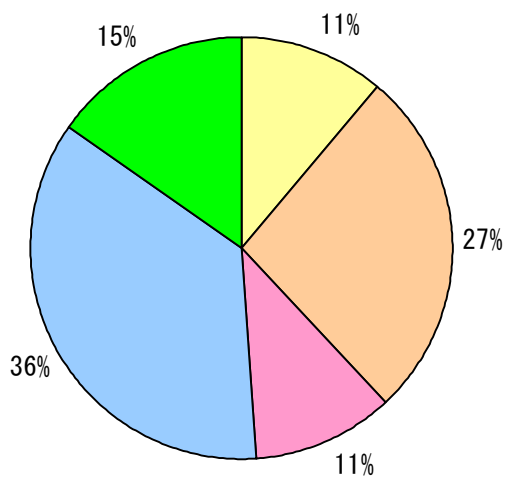
4. 総合評価方式の評価項目について

1) 技術評価点と価格評価点の配点についてどう思いますか？（簡易型）



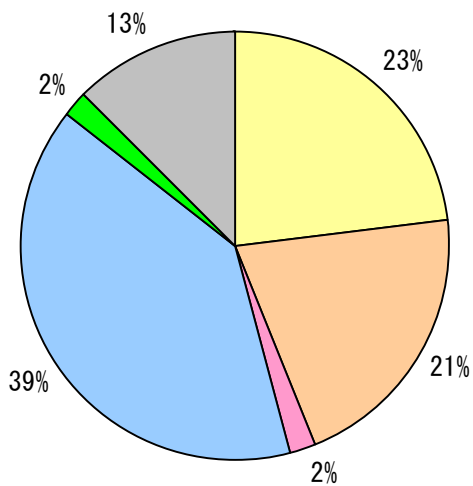
- 適切である。
- 概ね適切である。
- 技術評価点の割合を上げるべき
- 技術評価点の割合を下げるべき
- 分からない。

2) 技術評価点と価格評価点の配点についてどう思いますか？（特別簡易型）



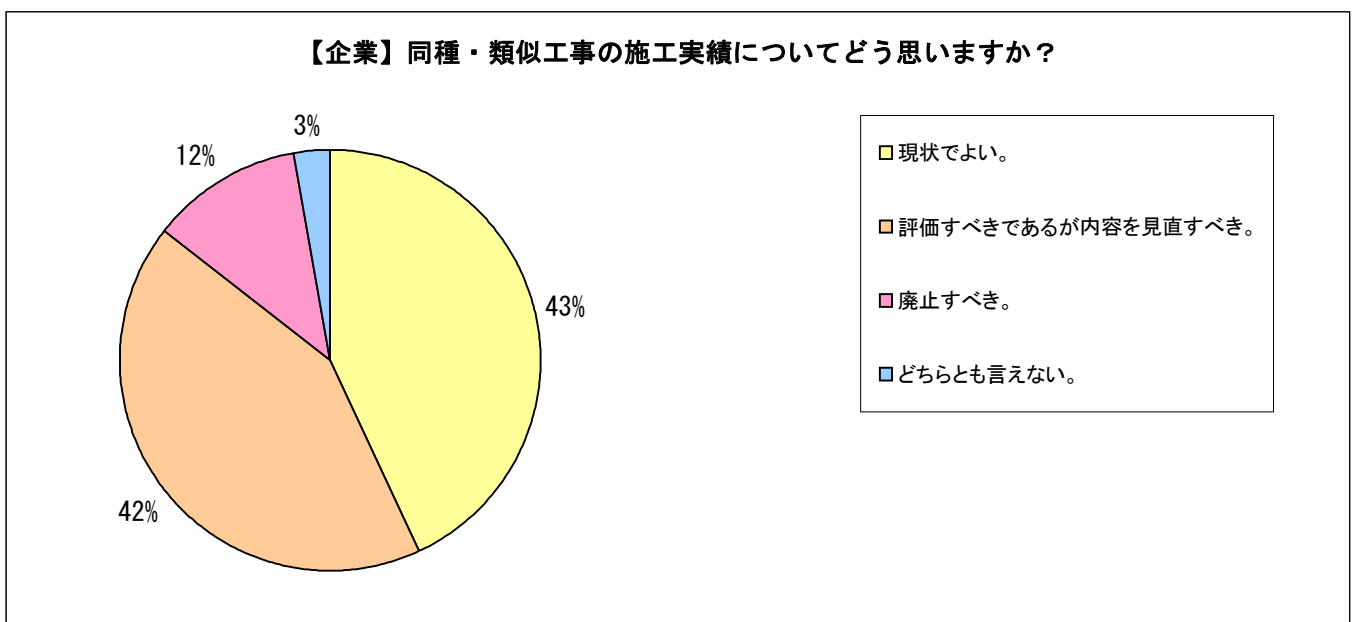
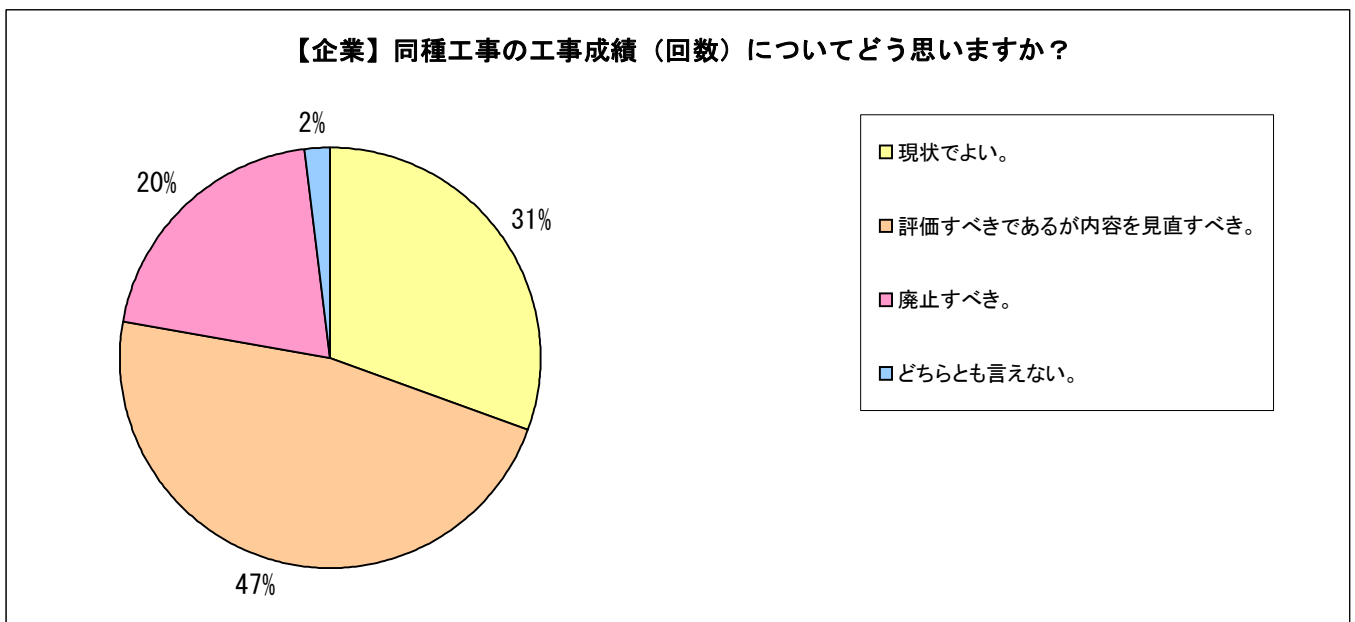
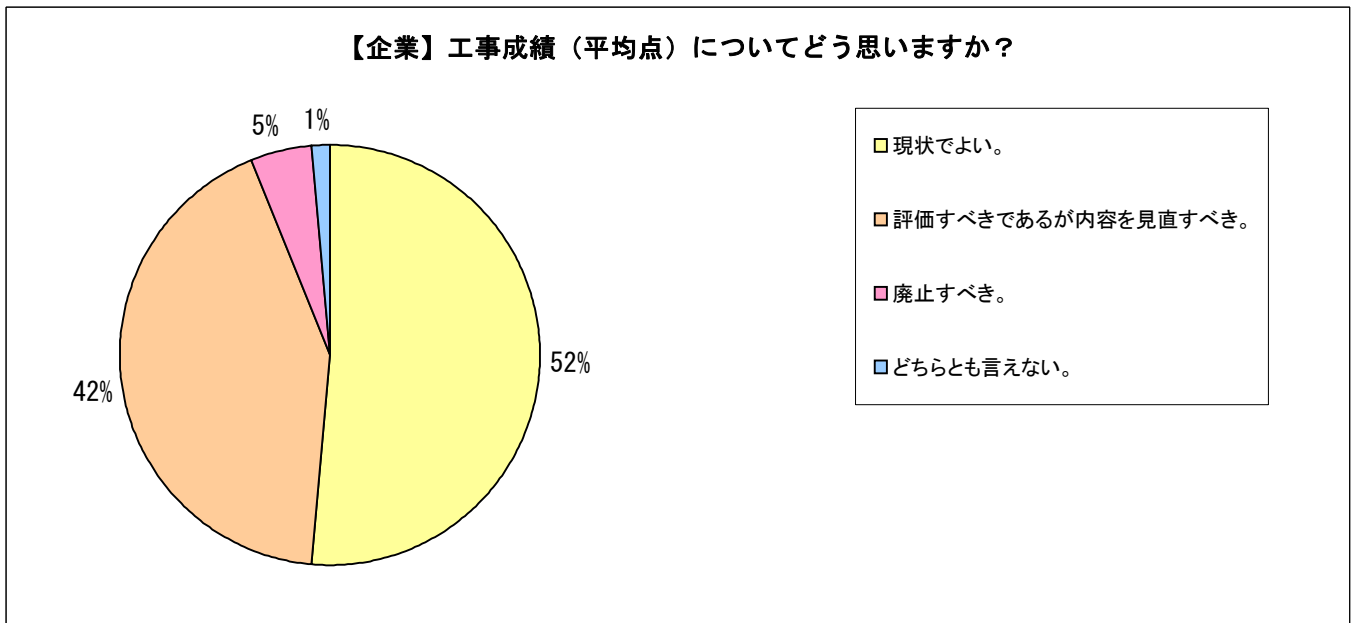
- 適切である。
- 概ね適切である。
- 技術評価点の割合を上げるべき
- 技術評価点の割合を下げるべき
- 分からない。

2) 技術評価点の評価項目数についてどう思いますか？

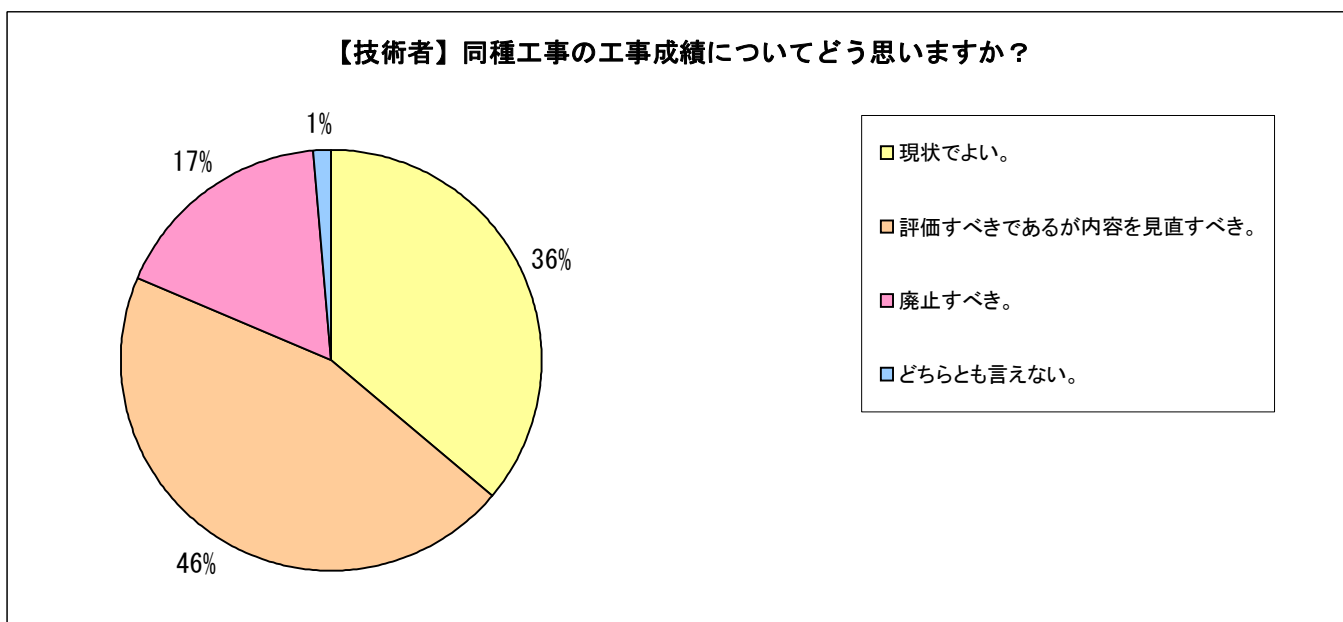
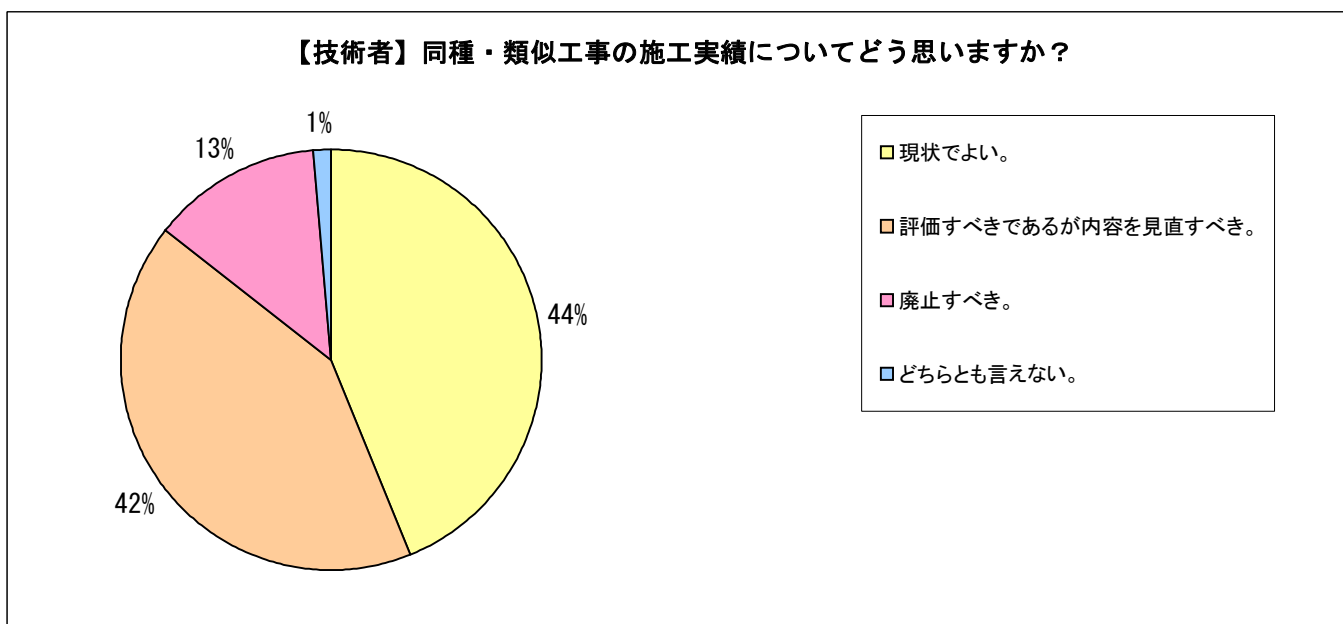
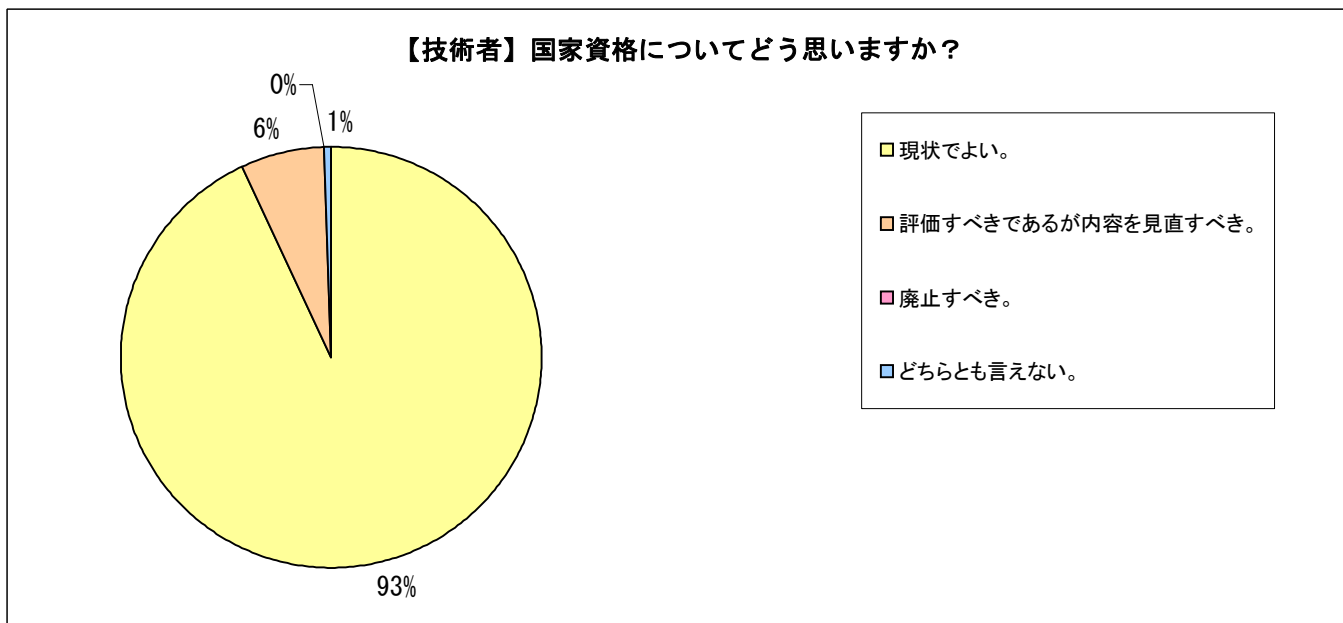


- 適切である。
- やや多い。
- やや少ない。
- 多すぎる。
- 少なすぎる。
- 分からない。

3) 技術評価点の評価項目について

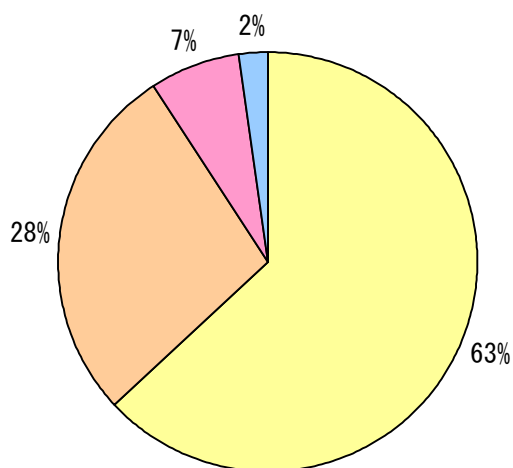


3) 技術評価点の評価項目について



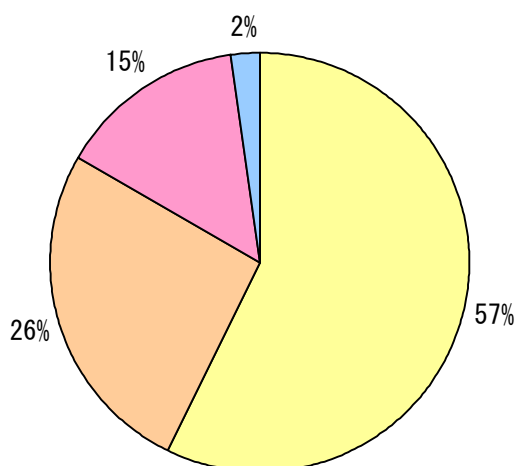
3) 技術評価点の評価項目について

【地域貢献度】災害活動時協力についてどう思いますか？



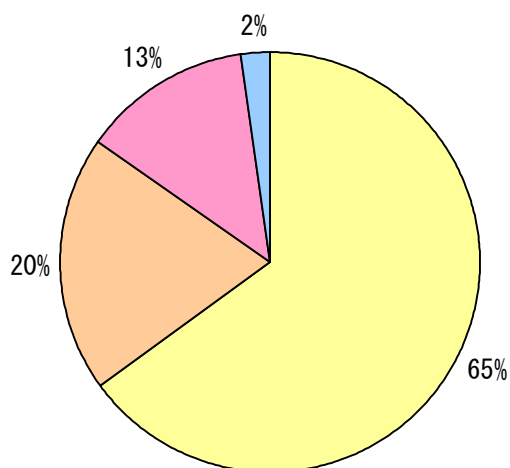
- 現状でよい。
- 評価すべきであるが内容を見直すべき。
- 廃止すべき。
- どちらとも言えない。

【地域貢献度】除雪協力についてどう思いますか？



- 現状でよい。
- 評価すべきであるが内容を見直すべき。
- 廃止すべき。
- どちらとも言えない。

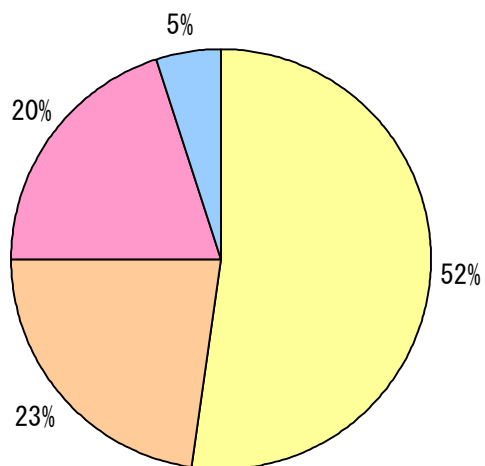
【地域貢献度】地域内拠点についてどう思いますか？



- 現状でよい。
- 評価すべきであるが内容を見直すべき。
- 廃止すべき。
- どちらとも言えない。

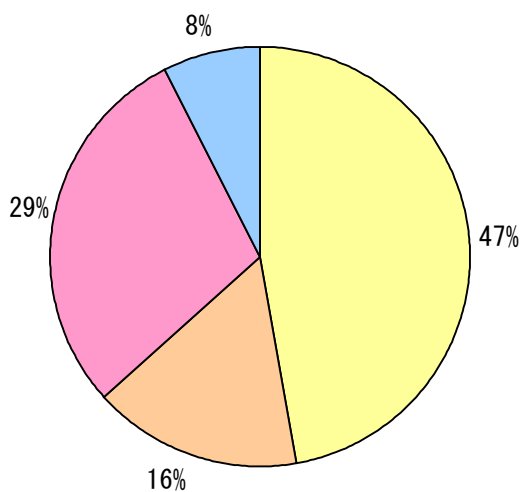
3) 技術評価点の評価項目について

【地域貢献度】緊急修繕についてどう思いますか？



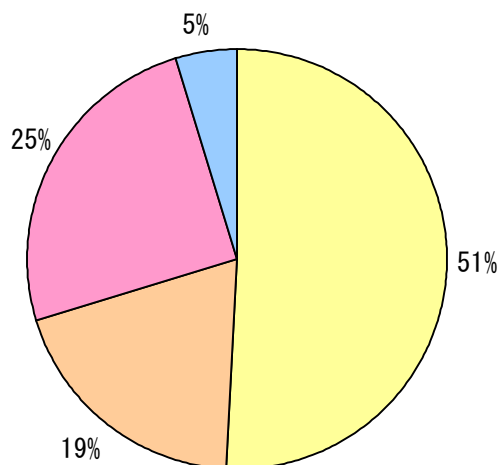
- 現状でよい。
- 評価すべきであるが内容を見直すべき。
- 廃止すべき。
- どちらとも言えない。

【地域貢献度】新潟市消防団協力事業所についてどう思いますか？



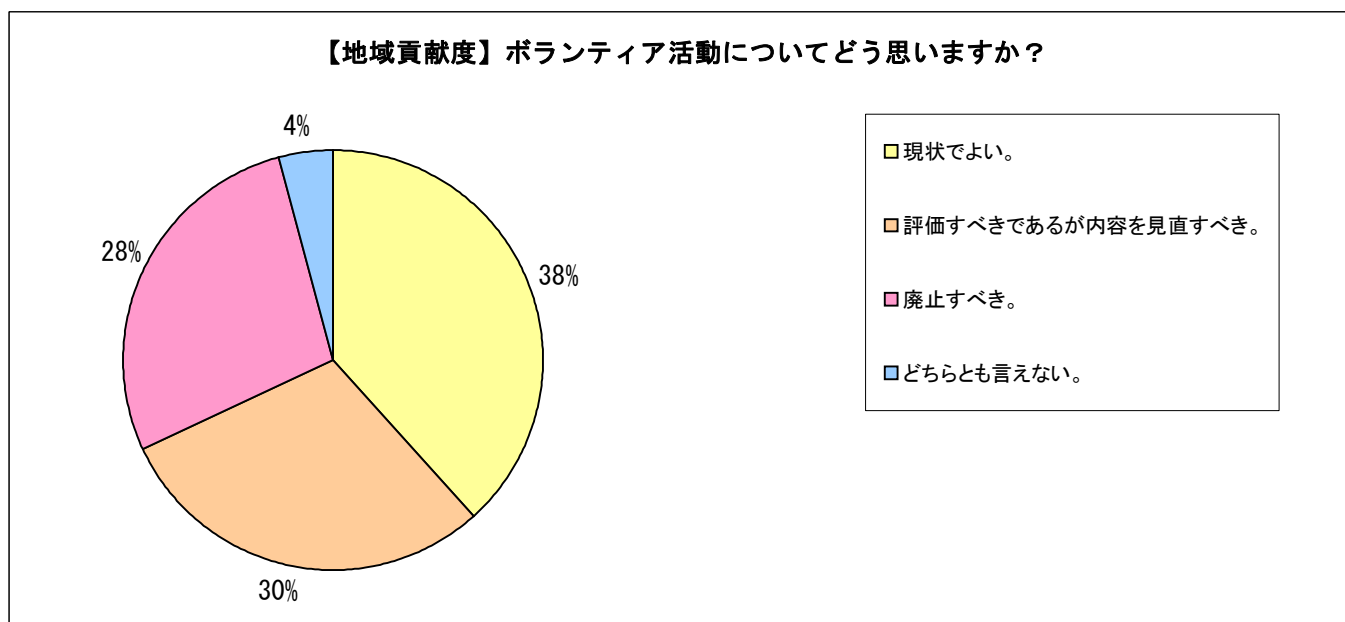
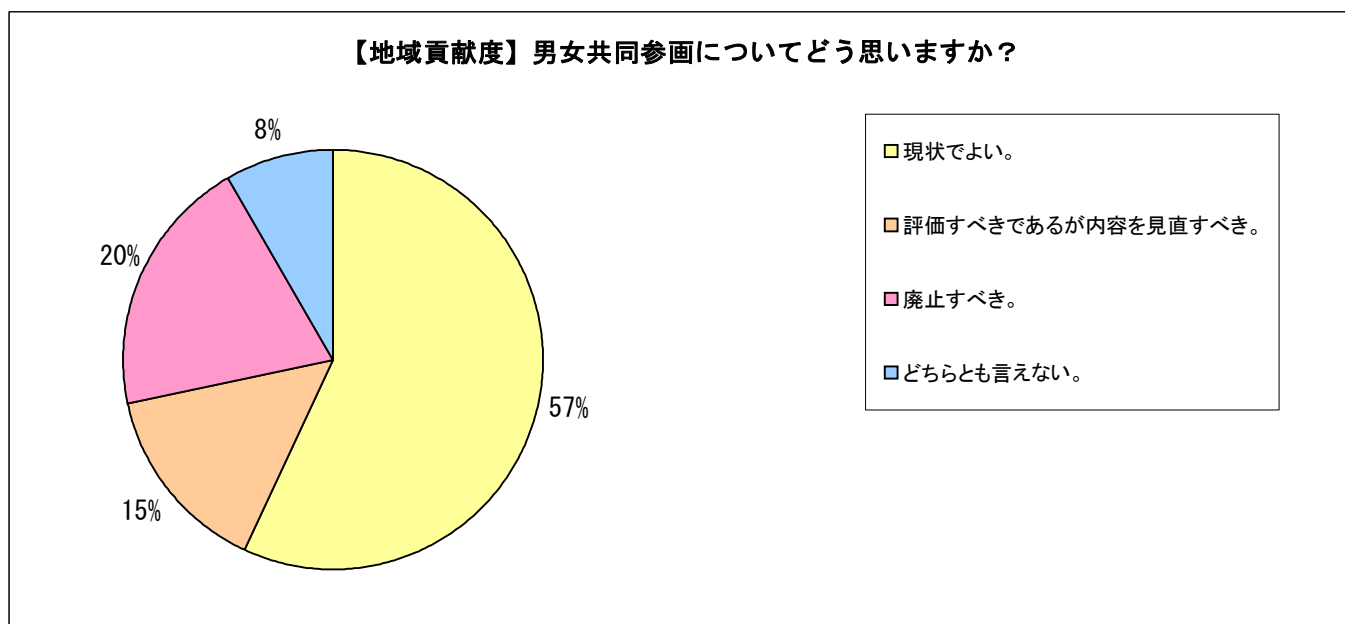
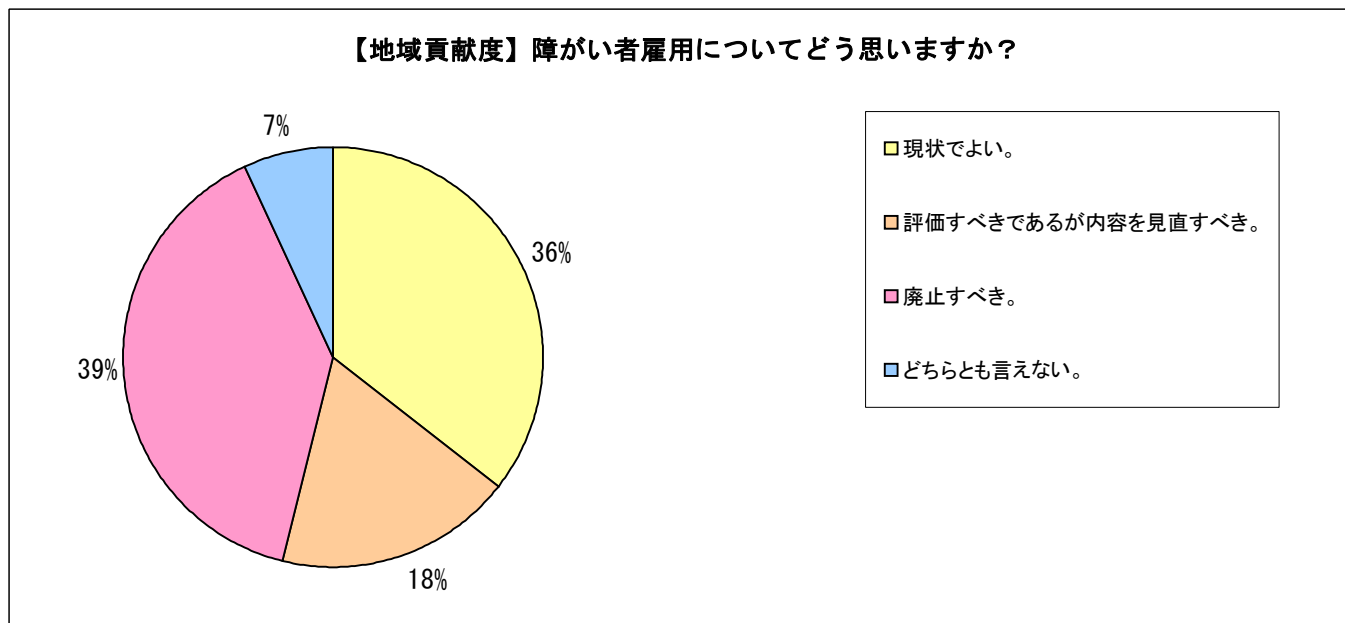
- 現状でよい。
- 評価すべきであるが内容を見直すべき。
- 廃止すべき。
- どちらとも言えない。

【地域貢献度】高齢者雇用についてどう思いますか？

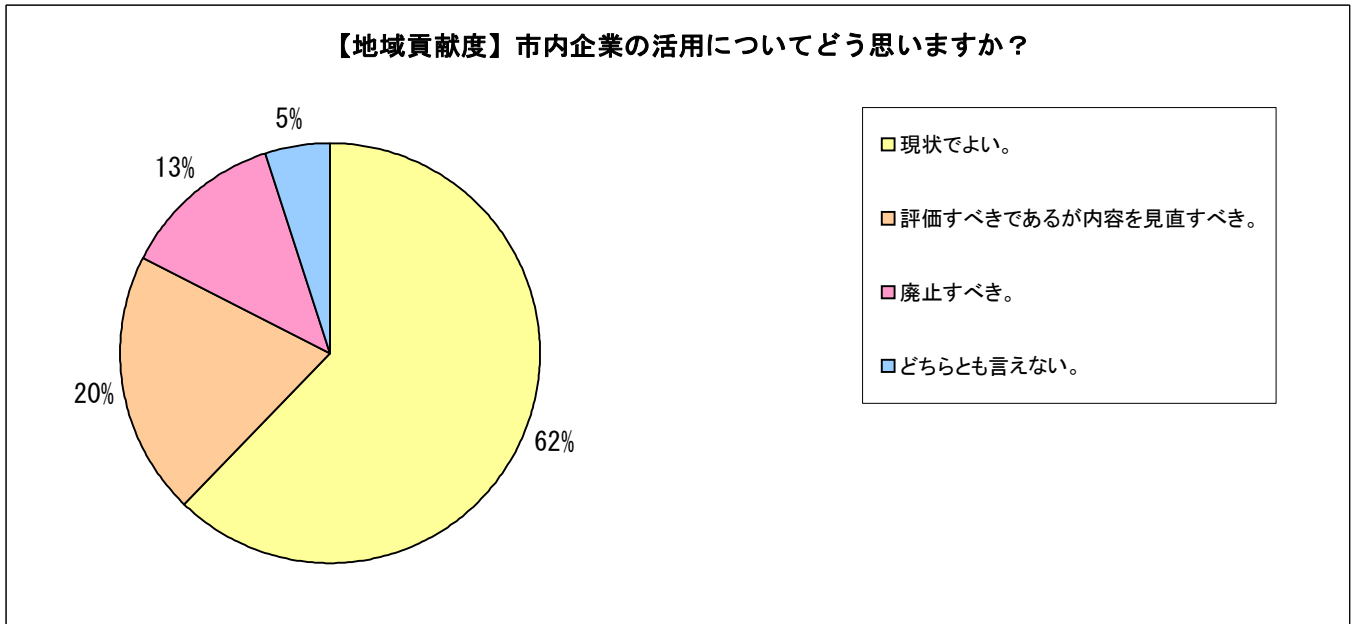


- 現状でよい。
- 評価すべきであるが内容を見直すべき。
- 廃止すべき。
- どちらとも言えない。

3) 技術評価点の評価項目について

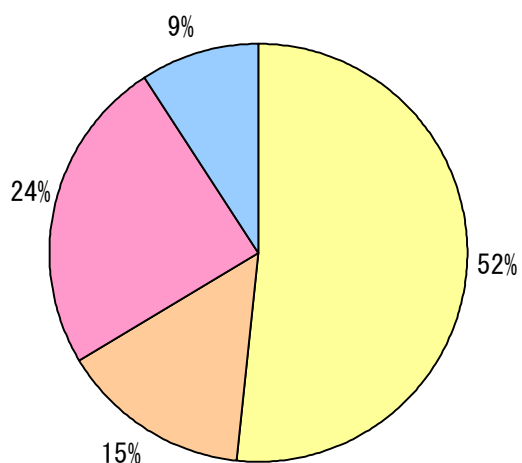


3) 技術評価点の評価項目について



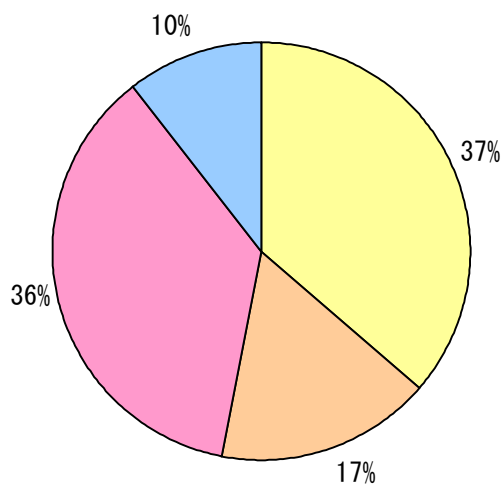
3) 技術評価点の評価項目について

【優良性】ISOの認証についてどう思いますか？



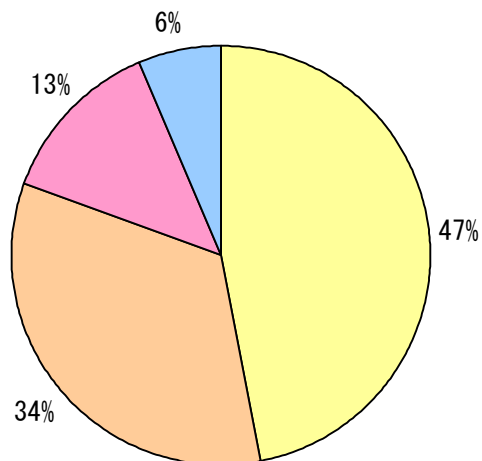
- 現状でよい。
- 評価すべきであるが内容を見直すべき。
- 廃止すべき。
- どちらとも言えない。

【優良性】エコアクション21等の認証についてどう思いますか？



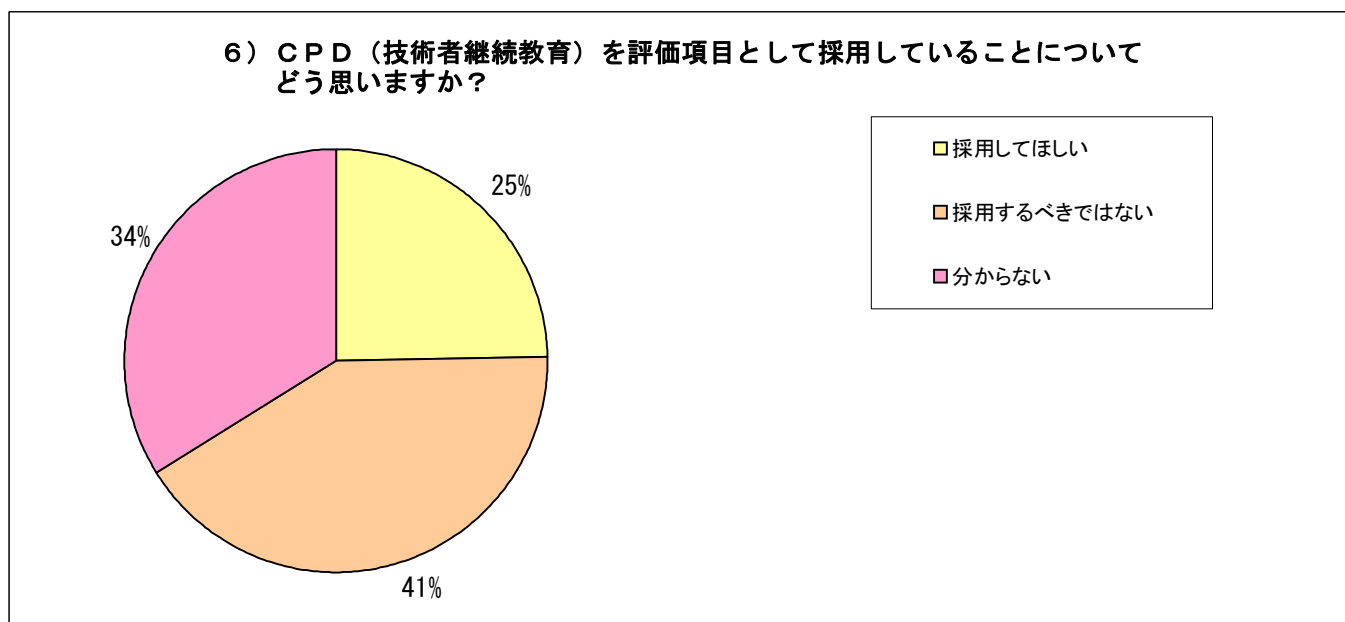
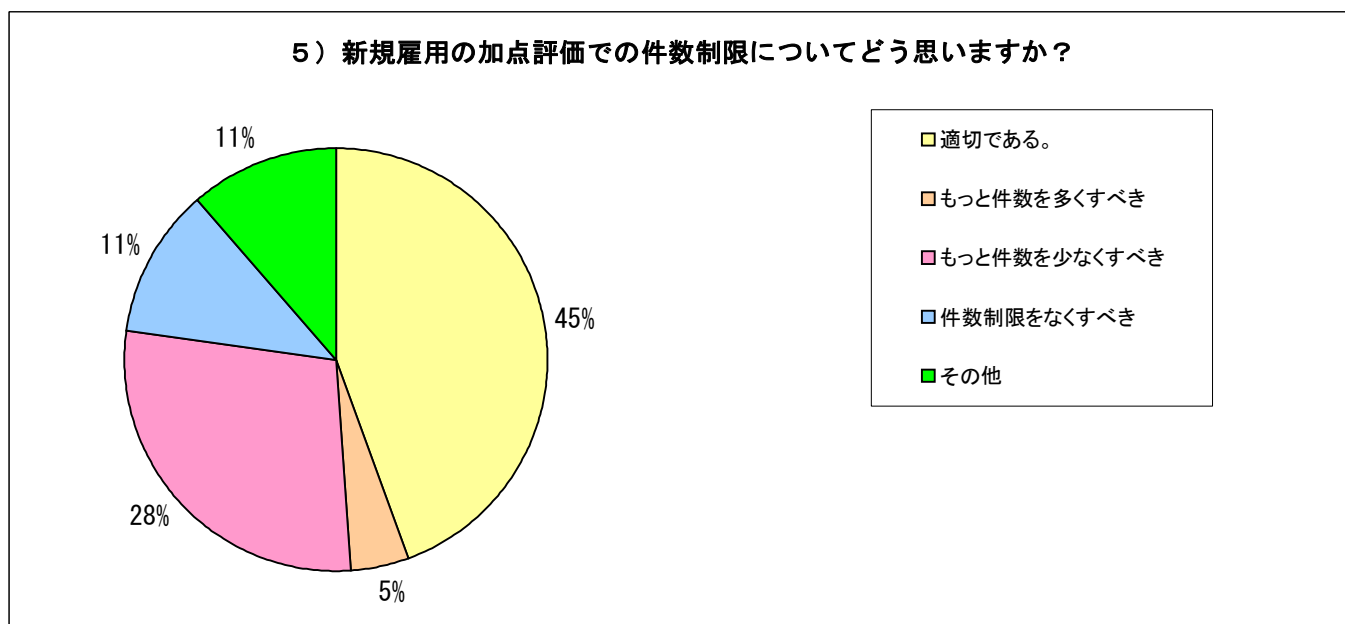
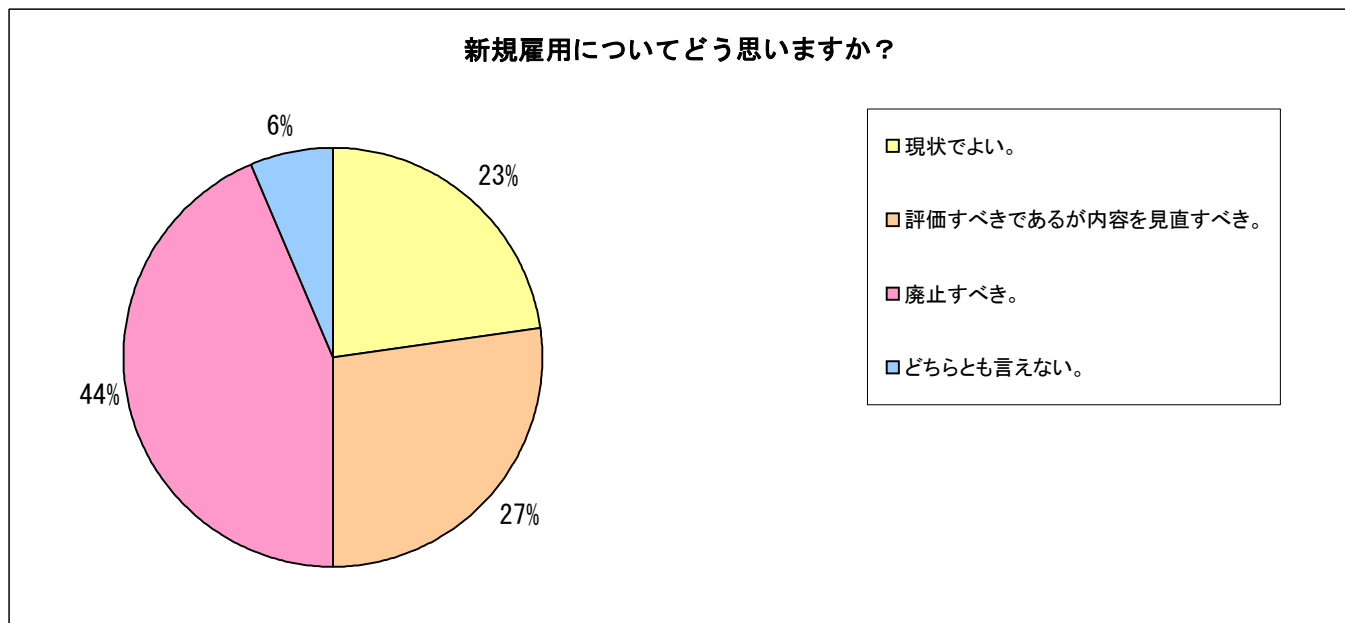
- 現状でよい。
- 評価すべきであるが内容を見直すべき。
- 廃止すべき。
- どちらとも言えない。

【優良性】優良工事表彰等についてどう思いますか？



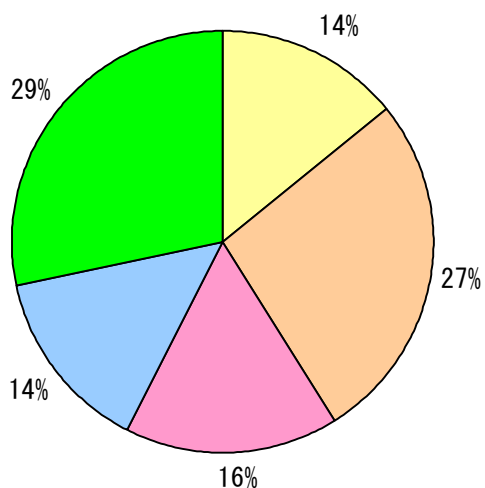
- 現状でよい。
- 評価すべきであるが内容を見直すべき。
- 廃止すべき。
- どちらとも言えない。

3) 技術評価点の評価項目について



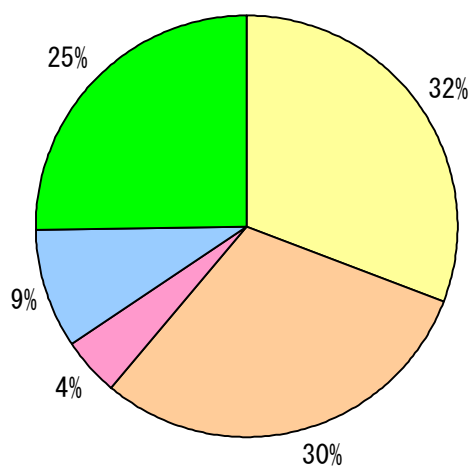
5. 簡易型における簡易な施工計画について

1) 簡易な施工計画の配点についてどう思いますか？



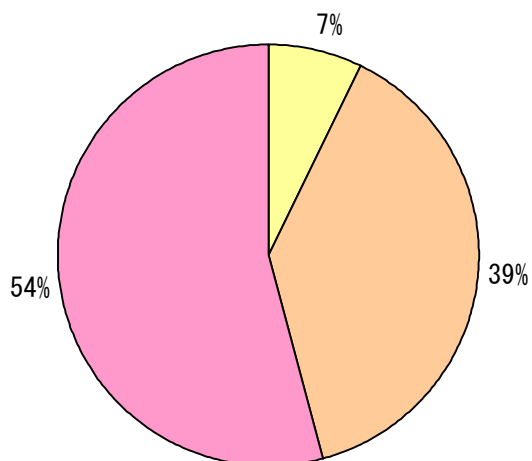
- 適切である。
- 概ね適切である。
- 簡易な施工計画の配点を上げるべき
- 簡易な施工計画の配点を下げるべき
- 分からない。

2) 簡易な施工計画の作成について負担を感じていますか？



- 負担を感じている。
- 負担をやや感じている。
- 負担を感じていない。
- 負担をあまり感じていない。
- 分からない。

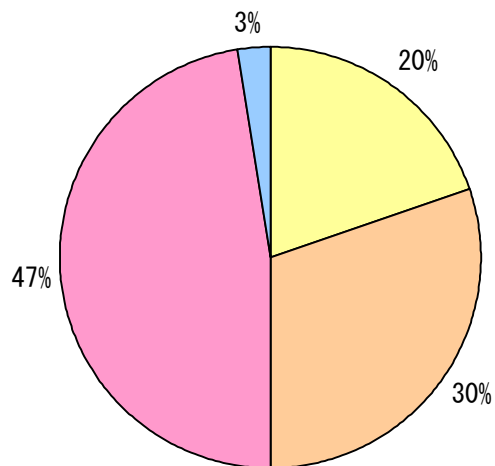
3) 簡易な施工計画の評価について公平に評価されていると思いますか？



- 公平に評価されていると思う。
- 公平に評価されていると思わない。
- 分からない。

5. 簡易型における簡易な施工計画について

4) ” 3) ” で「公平に評価されていると思わない」と回答した場合、
簡易な施工計画の公平に評価されていないと思う理由は何ですか？



- 工事所管課または部(所)により評価基準が違うから
- どの程度の技術的内容が求められているか分かりにくいから
- その評価点の根拠となった具体的な評価項目が公表されていないから
- その他

4. 総合評価方式の評価項目についてのご意見等

○配点について

- ・施工実績型であれば施工実績を、地域貢献型であれば地域貢献度の点数配分を上げるべき。(計2件)
- ・評価項目は、新潟県総合評価方式の評価項目に準じた配点に見直してほしい。
- ・極端な点差が開くような配点にしてほしい。
- ・極端に点差が開かないような配点にしてほしい。
- ・中小企業育成の観点から、直営作業員を抱えて自社でやる所の配点を高くしてほしい。

○評価項目数について

- ・必要でない評価項目が多い。(計3件)
- ・地域貢献度の評価項目が多すぎるため、必要な評価項目だけに絞りこむべき。(計2件)
- ・地域貢献度の項目をもっと増やすべき。
- ・高齢者雇用・障害者雇用・新規雇用は、合わせて1つ評価項目で良い。

○新規追加をしてほしい評価項目について

- ・機械の保有台数等について、評価項目に取り入れてほしい。(計6件)
- ・新潟県のように経営事項審査の総合評点など経営状況の評価項目に取り入れてほしい。(計5件)
- ・納税額の多少等、企業の経理内容評価反映する評価項目を取り入れてほしい。(計4件)
- ・各種保険加入の有無を評価項目に取り入れてほしい。
- ・工事安全成績も評価項目に取り入れるてほしい。
- ・「保護司会の中の協力雇用主の会」を評価項目に取り入れてほしい。
- ・市内居住者の雇用状況を評価項目に取り入れてほしい。
- ・新潟市消防団員の雇用状況を評価項目に取り入れてほしい。
- ・その企業の全雇用者数に対する新潟市在住者の割合に応じた評価項目を取り入れてほしい。
- ・発注区内での工事実績の評価点を取り入れてほしい。
- ・災害時の地元貢献を考えれば技術者よりも作業員が必要であるため、作業員の評価項目を取り入れてほしい。

○評価項目全般について

- ・品質・安全等に直接関係なく、各社の経営状況による項目は評価項目として取り入れるべきではない。(計3件)
- ・規模の大きい企業に落札者が偏る傾向にあるため、評価項目の見直しが必要である。(計2件)
- ・評価項目が複雑になりすぎないようにしてほしい。(計2件)
- ・評価項目については、少なくとも年度内での変更はしないでほしい。
- ・評価項目や配点は発注者が決めることであり、受注業者は高い技術評価点を取るよう努力することが努め。
- ・すでに入札参加条件の等級・評点の対象となっている項目もあり、評価項目に加える必要はない。
- ・特別なことを行わなければ評価されない項目は適切な評価項目ではない。
- ・予定価格や工事内容に応じた評価項目の設定を検討してほしい。
- ・発注案件になぜその評価項目を設定したかについては、不信感を抱かれないためにも説明が必要。
- ・全入札参加業者に公平な評価項目の設定してほしい。
- ・造園工事については、全ての評価項目についてJV実績を評価の対象とするべき。
- ・発注する工(業)種に見合った評価項目の選定をしてほしい。
- ・公平・公正という観点とのつり合いの取れた評価項目をお願いしたい。

○地域貢献度の評価項目について

- ・企業経営を圧迫しているため、評価項目から無くしてほしい。(計3件)
- ・区域間の優劣をなくしてほしい。(計3件)
- ・地元企業が落札できるような配点にしてほしい。(計2件)
- ・来年度には、殆どの企業が地域貢献度で加点されており、評価項目自体が意味の無いものになる。
- ・災害活動時協力及び除雪協力は、どちらも地域貢献度としては高いので両方の評価を必須とすべき。

○工事成績(平均点)について

- ・対象期間は過去3ヶ年度でなく、過去5～10ヶ年度程度をすべき。(計2件)
- ・点数を改善するのに長期間にわたり取り組む必要があるため期間と配点を見直してほしい。(計2件)
- ・何件か受注したら、係数を掛けるなどして、点数配分を下げるべき。(計2件)
- ・JVでの成績も評価してほしい。(他JVの代表者の評価1件 計2件)

- ・発注部署や区によって工事成績の評価にバラツキがあるので、統一してほしい。(計2件)
- ・下水道一式、土木一式など対象業種で分ける案件などがあっても良い。(計2件)
- ・実績件数も考慮してほしい。
- ・80点以上「7点」、実績無し「0点」というように点数をグループ化し、極端な点差を生じさせない。
- ・過去1年間において、65点未満の工事成績がある場合は「-1点」にする。
- ・すべての工事を対象とするべき。
- ・全体に占める配点割合が大きいが、評価内容が不明確で公平性が保たれているか疑問がある。
- ・発注件数及び受注件数に左右されるので廃止すべき。
- ・もっと配点を高くすべき。
- ・もっと配点を低くすべき。
- ・高得点の企業の一人勝ち状態になってしまうので、評価に加えない案件も発注してもらいたい。
- ・受注出来ない企業は、受注出来た業者と比べ点差が開くため、公平性に欠ける。
- ・実績が少ない業者の平均点が高い傾向にあるので、是正してほしい。
- ・評定対象竣工年月日の反映が遅いと感じる。
- ・過去の実績のみを重視しすぎている。
- ・平均点は指名入札分(1千万未満)を除いたほうが良い。

○同種工事の工事成績について

【全般について】

- ・JVの成績も評価してほしい。(計4件)
- ・期間を現状の過去3ヵ年度から、5～10年度程度にしてほしい。(計3件)
- ・新潟市から1回も発注されたことのないような施工内容の工事があるので、設定を考えてほしい。(計2件)
- ・管工事では、過去3ヶ年度で同種工事がほとんど発注されていないので、設定を見直してほしい。(計2件)
- ・評価する対象工事の評価内容を各工種ごとに統一すべき。
- ・配点を高くすべき。
- ・設定する施工数量が大き過ぎ、中小業者に不公平になるため、数量の緩和をしてほしい。

【企業の工事成績(回数)について】

- ・受注実績の少ない企業には不利であるため、見直しあるいは廃止すべき。(見直し2件、廃止4件 計6件)
- ・5回以上が満点ではなく、回数×点数とすべき。

【配置予定技術者の工事成績について】

- ・もっと配点を低くすべき。(計3件)
- ・特定の技術者しか参加出来ないため、廃止すべき。(計2件)
- ・監理技術者・主任技術者の実績評価は限られるので、現場代理人での実績も認めてほしい。
- ・地域貢献度型の配点も施工実績型と同じ2点にしてほしい。
- ・実績のない若手技術者育成のため、実績の有無を問わない案件が有っても良い。

○同種・類似工事の施工実績について

【全般について】

- ・国や県と同様に過去10～15ヶ年度に期間を伸ばすべき。(計2件)
- ・工事を受注しない限り実績がつかず、実績のある会社ばかりが有利となる。(計2件)
- ・実績の数量設定が細かすぎる。(計2件)
- ・下請けの実績も考慮してほしい。(計2件)
- ・評価する対象工事の評価内容を各工種ごとに統一すべき。
- ・入札公告の実績要件と同じにすべき。
- ・新潟市から1回も発注されたことのないような施工内容の工事があるので、設定を考えてほしい。
- ・同じ断面であれば施工方法は同じなので、施工延長による評価は廃止するべき。
- ・実績の有無を問わない案件が有っても良い。
- ・旧新潟市と旧他市町村とでは、発注件数に違いがあるため、地域格差をを考慮してほしい。
- ・建築については、官庁実績と民間実績の差を無くしてほしい。
- ・管工事の実態に即した内容にしてほしい。
- ・施工実績の有るか無しではなく、3段階程度に分類してほしい。
- ・もう少し規格を緩和してほしい。(例：自由勾配側溝300型と400型に、差はない)
- ・配点を低くすべき。
- ・新規参入が困難である。

〔企業の施工実績について〕

- ・下水道推進工事の実績がない業者が落札できるような、施工実績を緩和した案件があっても良い。（計2件）
- ・実績数量を、技術者と同等の数量に引き下げるべき。
- ・設定する施工数量が大き過ぎ、中小業者に不公平になるため、数量の緩和をしてほしい。

〔配置予定技術者の施工実績について〕

- ・点数を確保するため同じ技術者を選択するので、新たな技術者に実績がつかない。
- ・配置予定技術者にも企業と同等の実績を求め、もう少し優劣の差をつけるべき。
- ・若手技術者が配置できるよう、実績数量の緩和をしてほしい。
- ・配点を低くすべき。
- ・実績のない若手技術者のため、実績の有無を問わない案件があっても良い。

○国家資格について

- ・セミシールド・小口径推進の場合、「推進工事技士」の資格を保有する者を評価に取り入れるべき。
- ・法面工事では、技術者の資格を廃止すべき。

○災害活動協力について

- ・区によって工事発注量が違うので、工事場所が同一区とそうでない場合との配点差を小さくすべき。（計7件）
- ・建設業界の状況を全く無視しているので廃止すべき。（計4件）
- ・建設業協会に加入していない業者に配慮してほしい。（他下請けでの加点、「新潟市消防団協力事業所表示の有無」での加点等 計4件）
- ・災害活動の実績があれば、さらに加点してほしい。（計3件）
- ・複数区協定を締結していれば本社所在地と同一区のみでの評価とすべき。（計2件）
- ・防災計画外での活動（本年7月の水害時等）も対象にしてほしい。
- ・市内全域を対象とした協定は、同一区域の配点と同じにすべき。
- ・協定だけ結んで出動しなかった業者は加点を認めない等、厳しい対応をお願いしたい。
- ・作業員・重機・ダンプを保有している業者と技術者しかいない業者とでは配点を違えるべき。
- ・空きがないから他区に行ってくれと言われたのに、同一区でないと減点は不公平。
- ・評価のために急に防災協定を締結し参加している業者等は参加させないでほしい。

○除雪協力について

- ・区によって工事発注量が違うので、工事場所が同一区とそうでない場合との配点差を小さくすべき。（計6件）
- ・機械の所有台数を評価に取り入れてほしい。（計5件）
- ・除雪延長距離を評価に取り入れてほしい。（計5件）
- ・経営に大きな負担であり廃止してほしい。（計3件）
- ・自社所有の機械の配点をもっと高くしてほしい。（計2件）
- ・電気工事など除雪に関係ない工事は除外してほしい。（計2件）
- ・保有年数を評価に取り入れてほしい。
- ・公共施設の駐車場面積も判定の基準に加えてほしい。
- ・複数箇所協力業者は、隣接区も除雪業者として同等の扱いをお願いしたい。
- ・除雪協力している地元の配点を高くするなど、地域を細分化してほしい。
- ・歩道除雪と道路除雪は作業負担が違うので、配点に差を付けるべきではないのか。
- ・地区や自社機械の有無で差をつけないでほしい。
- ・空きがないから他区に行ってくれと言われたのに、同一区でないと減点は不公平。
- ・重機の保有は会社の資産であり、資産で評価するのはおかしい。
- ・造園工事については、道路除雪だけでなく公園内除雪の実績についても評価すべき。
- ・複数区協定を締結していても本社所在地と同一区のみでの評価とすべき。

○地域内拠点について

- ・区によって工事発注量が違うので、工事場所が同一区とそうでない場合との配点差を小さくすべき。（計4件）
- ・配点を高くすべき。（計2件）
- ・造園業界は、各地区の企業数が少なく適さない。（計2件）
- ・新潟県に準じた配点に見直すべき。

○緊急修繕について

- ・区によって工事発注量が違うので、工事場所が同一区とそうでない場合との配点差を小さくすべき。(計4件)
- ・実施する業者に偏りがあるので廃止してほしい。
- ・電気業者とは締結してもらえないため不公平。
- ・舗装工事案件のみの評価案件なので、緊急修繕等通知書の通知内容を「舗装施工にのみ」とすべき。

○新潟市消防団協力事業所について

- ・品質確保に直接的には関わりがないので廃止すべき。(計4件)
- ・地域性を無視した選択項目であり見直すべき。(計2件)
- ・建設業界の状況を全く無視しているので廃止すべき。(計2件)
- ・配点を低くすべき。
- ・件数等を判定の基準とし、加点に差をつけるべき。

○高齢者雇用について

- ・中小企業にとって経営に大きな負担であり廃止すべき。(計3件)
- ・品質確保に直接的には関わりがないので廃止すべき。(計2件)
- ・継続雇用と65歳未満までの項目を緩和してほしい。(計2件)
- ・雇用拡大の観点から配点を高く、件数も増やすべき。
- ・評価は、会社にとっても、社会にとっても良い。
- ・配点を低くすべき。
- ・新潟市内に従事している者を対象とすべき。
- ・地域貢献度としてより、客観的な優良性として評価する方が妥当である。
- ・建設業界の状況を全く無視しているので廃止すべき。

○障がい者雇用について

- ・中小企業にとって経営に大きな負担であり廃止すべき。(計11件)
- ・配点を低くすべき。(計3件)
- ・現場作業員やオペレーター等での採用は安全面で妥当と思われないため廃止すべき。(計2件)
- ・品質確保に直接的には関わりがないので廃止すべき。
- ・設備投資等の受け入れ態勢対策を講じないと採用できない。
- ・障がい者の方が社内にいることは、差別を生みかねない。
- ・地域貢献度としてより、客観的な優良性として評価する方が妥当である。
- ・雇用拡大の観点から配点を高く、件数も増やすべき。
- ・評価は、会社にとっても、社会にとっても良い。

○男女共同参画について

- ・中小企業にとって経営に大きな負担であり廃止すべき。(計3件)
- ・品質確保に直接的には関わりがないので廃止すべき。(計2件)
- ・入札参加資格項目とし、評価項目から外すべき。
- ・配点を低くすべき。
- ・社員が休業制度等を利用した実績のある業者のみを評価すべき。
- ・地域貢献度としてより、客観的な優良性として評価する方が妥当である。

○ボランティア活動について

- ・区によって工事発注量が違うので、工事場所が同一区とそうでない場合との配点差を小さくすべき。(計3件)
- ・経営に大きな負担であり廃止すべき。(計3件)
- ・品質確保に直接的には関わりがないので廃止すべき。(計3件)
- ・評価で不明瞭な点が多く一貫性が無い。(他偽装が可能等 計2件)
- ・通年活動のボランティアのみを対象とすべき。(年1回はボランティアと見なさない。)
- ・総合評価のためだけにやってる業者が多いため、よく審査をしてほしい。
- ・複数区行っている場合は、本社所在の区のみにしてほしい。
- ・配点を低くすべき。(計2件)
- ・多少の活動では対象にならず評価基準が厳しい。
- ・ボランティア活動とは、本来、自発性・無償性等に基づく活動であり、加点対象とすべき項目ではない。
- ・イベントや地域の祭り等の参加も評価の対象にしてほしい。

○市内企業の活用について

- ・新潟県に準じた配点に見直すべき。
- ・特記仕様書等に明記することとし、評価項目から外すべき。
- ・採用案件が少ないようなので、地元育成の観点からも、もっと件数を増やしてほしい。
- ・配点を低くすべき。

○ISOの認証について

- ・認証を受けている会社が工事成績が特別に良いとは限らない。（計2件）
- ・継続の経費が高いため、経営が困難である。

○エコアクション21等の認証について

- ・継続の経費が高いため、経営が困難である。
- ・認証を受けている会社が工事成績が特別に良いとはかぎらない。
- ・「ISO14001の認証」と「エコアクション21の認証」はひとくくりにとまとめるべき。
- ・国際規格と国内規格の差を考慮し、「ISO14001の認証」よりも配点を低くすべき。
- ・周知不足なので評価項目としては不適。

○優良工事表彰等について

- ・対象期間をもっと延ばすべき。（計2件）
- ・工事の最高の評価であるので、評価点を企業の能力と同等にするべき。
- ・優良表彰と高得点工事との配点差を大きくしてほしい。
- ・優良表彰と高得点工事との配点差を少なくしてほしい。
- ・加点点評価での件数制限をすべき。
- ・受注機会のない業者にとっては意味がない。
- ・JV代表者として施工した実績も認めてほしい。
- ・通常表彰と区長推薦表彰では、配点に差をつけるべき。
- ・「ほ装」は「土木一式」と重複して評価対象となっているため、別々の評価にしてほしい。

○新規雇用について

〔評価項目について〕

- ・中小企業にとって経営に大きな負担であり廃止すべき。（計17件）
- ・配点を低くすべき。（計4件）
- ・雇用拡大の観点から配点を高くすべき。（計3件）
- ・品質確保に直接的には関わりがないので廃止すべき。（計2件）
- ・会社に不適格な人は、辞めてもらわなければならないので、「解雇したら0点」は廃止してほしい。（計2件）
- ・新規雇用の対象期間を、新たに採用してから1年を複数年に緩和してほしい。（計2件）
- ・新たに「雇用実績評価型」を作りそこでだけで評価すべき。（計2件）
- ・区内発注のような小規模工事では、評価対象から外すべき。
- ・10%以上の雇用で10点、0%で0点など、雇用の割合に応じて加点してほしい。
- ・国内の雇用問題を考えると、外国人研修生を対象から外すべき。
- ・全従業員とはせず、建設業に携わっている人数で評価すべき。
- ・新潟市内に従事している者のみを対象とすべき。

〔回数制限について〕

- ・JVで落札候補者となった場合も、3件の回数制限を適用すべき。（計4件）
- ・4件目からは、新規雇用率を上げるか落札出来ない事とすべき。
- ・4件目からは、手持ち工事状況により減点すべき。
- ・同日の場合は案件番号の若い順よりとしているが、落札候補者が契約案件を選べるようにしてほしい。

5. 簡易な施工計画についてのご意見等

ご意見

- ・採点基準が不透明である。(計5件)
- ・適正に評価されているのであれば現状で良い。(他現状で問題ない。計2件)
- ・評価する体制に疑問がある。
- ・工事品質と関係しない、言葉の使い方なども減点対象になるようである。
- ・同様な現場条件、施工計画の課題であっても、評価に大きな差が発生している案件があり、評価に一貫性がない。
- ・実際に大手有利であり不満である。

ご要望

- ・今後に生かし全体の質を上げるため、具体的な評価項目や採点根拠等を公表すべき。(計22件)
- ・固定化を避け、中小企業でも落札できる機会を増やすために配点割合を増やすべき。(計11件)
- ・配点で優劣をつけるため、相対評価にすべき。(計5件)
- ・Aランクの案件や特殊技術が要求される工事のみで実施してほしい。(計3件)
- ・安全・騒音対策等の提案が多いが、企業努力が反映出来るよう工法やVE提案の項目を増やしてほしい。(計3件)
- ・当該工事の「施工上の課題」に対して提案事項の数を限定してほしい。(計2件)
- ・評価基準や採点方法などの説明会の実施をお願いしたい。(計2件)
- ・絶対評価なのか相対評価なのかを明確にしてほしい。
- ・事例集等により分かりやすく説明してほしい。
- ・評価内容により、配点に偏りがあるため、配点のある程度均等にしてほしい。
- ・入札価格に反映することができるよう、入札前までに評価されたか否かを開示すべき。
- ・仮設鉄板・交通誘導員など、安全対策・工程管理等に非常に影響する項目は工事経費として認めてほしい。
- ・高点数を取るためには、経費の掛かる提案をしなければならず現場に負担がかかるため、非常に難しい。
- ・今現在Aランク工事のみに採用されているようだが、Bランクにも拡大してほしい。
- ・市の職員以外の人材も参加するなど、より公平に評価される体制で審査してほしい。
- ・安全対策では、交通誘導員をたくさん配置するなど資金的に余裕のある会社が有利なので、施工面で評価すべき。
- ・簡易な施工計画の作成に時間を費やすため、簡易型の案件が集中しない様に発注してほしい。
- ・課題の背景を明確にし、複数の受けとめ方が出来るような文章表現は避けてほしい。
- ・特殊技術を要さない工事では、安全・交通を含めたご近所対策など、身近な所の課題を入れてほしい。
- ・前施工者しか知りえない技術提案事項は、極力避けるか必要な資料を貸与出来るよう公平を期すべき。
- ・評価する対象や内容を明確に設定してほしい。
- ・どの程度の技術で何をを求めているのか具体的に示してほしい。

6. 総合評価方式について、改善点などのご意見等

○総合評価方式について

ご意見

【実施について】

- ・現在の総合評価方式では、入札前に点数が読め落札候補者が分かってしまうため、参加できない。(計21件)
- ・現在の方式は、大手企業に受注機会が多く、中小・零細企業が受注できない状況だ。(計16件)
- ・現行の方式は、受注出来る業者の固定化が進む。(計11件)
- ・根拠のない総合評価50%の適用は反対である。(計3件)
- ・新規参入ができない。(計2件)
- ・現在の方式は、県外企業が受注できない状況だ。(計2件)
- ・くじ引きでも工事を取れない業者は回数、実績とも不利になる。
- ・市内本社業者が有利になる入札になっている。
- ・入札参加資格申請時の主観点加算(ISO等)を希望しない業者が、総合評価の実績で認められるのは矛盾している。
- ・区内発注において、実績要件が統一されていないと思う。
- ・施工能力が高くとも地域貢献が低いため、受注できない。
- ・現状では、業者間格差が広がり、地域産業が衰退してしまう。
- ・過去に実績のある技術者しか配置することが出来ず、技術者が専門化してしまう懸念がある。
- ・秋葉区管内の案件が多い。
- ・秋葉区での入札を見ると、一部の企業に片寄って落札されているように思う。
- ・現状で問題ない。

【タイプについて】

- ・総合評価のタイプを細分化しすぎである。

【事務手続きについて】

- ・事務手続きが煩雑かつ不明瞭である。(他提出書類が煩雑等 計3件)
- ・事前に自己評価表を提出しているにも関わらず、落札候補者決定公表までに日数がかかる。(計2件)

【アンケートについて】

- ・アンケートの設問が土木工事と建築工事のみに限られている。
- ・今回のアンケートが形式的なものに終わり、本当に活かされるのか疑問。

【その他】

- ・建設業に携わる者たちは、そのものづくりの技を生かして、地域の中ですでに貢献している。
- ・技術的に優れた優良企業と地域に密着した小規模企業はそれぞれ必要であり、それぞれの役割分担があっている。
- ・企業努力もしないで文句ばかり言う会社は、脱落してもらいたい。
- ・新潟市の行政にがんばって付いて行こうと思う。
- ・緊急時や降雪時の要請に寝る間もなく対応している業者にとって、地元の物件が取れないのはとても悔しい。

ご要望

【実施について】

- ・上位ランクの企業が有利になるため、企業のランク別の発注をしてほしい。(計16件)
- ・造園のように実績や競争性が少なく特殊な業種では、実態に応じた総合評価方式の内容にすべき。(計6件)
- ・受注業者が極端に偏らないような仕組にしてほしい。(計4件)
- ・件数や金額が何割ではなく、工事規模や工事内容(施工難易度・構造等等)を重視すべき。(計4件)
- ・取り上がり方式を導入してほしい。(計4件)
- ・受注回数の制限をしてほしい。(計4件)
- ・単純明解で誰が評価しても同じような結果にしてほしい。(計3件)
- ・それまでのコストや企業努力が無駄になるため、1度決定したら短いスパンでの変更はしないでほしい。(計3件)
- ・総合評価は本庁発注だけで良く、区役所発注は廃止すべき。(計3件)
- ・解体工事について、実際に自社施工できる業者に有利になるようにしてほしい。(計3件)
- ・本来の公共工事における入札のあるべき姿ではないため、見直しをすべき。(計2件)
- ・今年度もこのままで運用する予定であるなら、改善するまでの間は中止してほしい。(計2件)
- ・価格点に反映させるため、入札価格の単位を現在の10万単位から万円や千円単位としてほしい。(計2件)
- ・CPDを採用するのであれば、一定期間の周知期間が必要である。(3年1件、1年1件 計2件)
- ・夏休みの学校耐震補強工事を総合評価は時間がかかるため早期の発注をしてほしい。(計2件)
- ・工事は点数ばかりではなく、地元業者を最優先に発注すべき。
- ・現在の加算方式ではなく、除算式も検討してほしい。
- ・何十年も市内に営業所を置き、地元在住の社員を多く抱える企業地元企業と同じ扱いにしてほしい。
- ・区域間格差解消のため、発注量の少ない区域の業者の地域要件を無くし、同一区域内と同等の配点にしてほしい。

- ・同じような工種の発注時期をある程度ずらしてほしい。
- ・工事成績や施工実績を重視する案件と、それ以外の部分を総合的に評価する案件に分けてほしい。
- ・8千万円以下の小規模工事は、従来の国で経営審査書類でのランク付による入札方式にすべき。
- ・総合評価方式は、ごく高額あるいは特殊な工事に限るべき。
- ・各区より本社を移転あるいは子会社を作って入札参加をしている会社を排除するため、区内の営業実績年数5年未満の業者は参加させないでほしい。
- ・四半期毎や同月内などで、件数の設定をしてほしい。
- ・とび・土工、コンクリート2種に総合評価方式は必要ない。
- ・現在地域貢献度が変則的に加点対象が物件ごとが変わるが、他ももっと変則的にバランスよくしてほしい。
- ・同一総合評価案件で、同一役員、同一株主が重複して企業の参加は、どちらか1社のみの参加とすべき。
- ・総合評価方式の適用理由の説明が無いので、適用理由を説明すべき。
- ・管工事等の専門工事の適用は、高金額で専門性を要する施設等の案件だけにしてほしい。
- ・年度毎に手持ち工事量（件数、金額）も考慮してほしい。
- ・資金がなくとも施工技術がある会社を評価してほしい。
- ・一般的な盛土工事や、下水道工事、道路改良工事などは総合評価を縮小してほしい。
- ・チャレンジ枠を取入れてほしい。
- ・新築工事のみを対象としてほしい。
- ・減点方式を取り入れてほしい。
- ・業者が工事物件を事前に選択できるように、総合評価の年間発注計画を公表してほしい。
- ・各工事分野を専門に評価するような仕組みがわかりやすく公平感もある。

〔タイプについて〕

- ・簡易な施工計画をもっと取り入れてほしい。（簡易型のさらなる採用）（計10件）
- ・総合評価においては、全ての工事で簡易な施工計画を採用すべき。（他特別簡易型の休止等 計4件）
- ・工事規模に応じて、標準型も取り入れてほしい。（計3件）
- ・簡易な施工計画だけを評価項目とする簡易型の新タイプを設けてほしい。
- ・区発注の案件は、施工実績Ⅰ型、Ⅱ型も発注して欲しい。

〔事務手続きについて〕

- ・自己評価表の電子申請は、事前の登録やシステムの要求事項が多いので、電子入札システムと一緒にしてほしい。
- ・自己評価表の配置予定技術者欄にある主任技術者又は監理技術者の区分は必要ないのではないか。
- ・技術資料の提出にあたり、区役所提出では要領も得ないなどで日数もかかり効率が悪いので、改善してほしい。

〔その他〕

- ・総合評価方式改正における新潟市と協会等の会議があれば、傍聴できるようにしてほしい。（計2件）
- ・改定の際は、市の土木部や建設課の意見を参考にしてほしい。
- ・1年間～2年間も受注できない業者をどのように処遇するのか真剣に考えてほしい。

○総合評価方式以外について

〔入札について〕

- ・入札参加条件をもっと細かく設定してほしい。（計3件）
- ・積算技術に反映させるため、最低制限価格の10万円単位を1万円単位にしてほしい。（計3件）
- ・指名競争入札の金額の上限を引き上げるべき。（他土木工事の1千万円台の工事は指名入札にする等 計2件）
- ・入札参加要件で、混合ランクの撤廃をお願いしたい。（計2件）
- ・工事量が不足しているため、分離・分割発注の更なる促進をお願いしたい。
- ・Dランクの一般競争入札の発注件数を増やしてほしい。
- ・指名停止措置とは別に、反社会的行為を行った会社に対する取り扱いを考慮すべき。
- ・行ったら半永久に仕事が出来ない仕組みなど、談合とダンピングがなくなる方法を優先すべき。
- ・ほ装工事業の許可はあるが、自社施工出来ない者がいるため、舗装の実績要件に自社施工の旨を追記してほしい。
- ・実績要件に過去3年間69点以下の評定点のある技術者が応札できない旨を追記してほしい。
- ・推進工事などのように工事成績や下請け実績による案件を増やして、入札参加できる案件を増やしてほしい。
- ・指名競争入札はランクに限らず地元業者を優先し指名してほしい。
- ・中央区を除く区は制限があるため参加できないことが多い。
- ・すべての予定価格を事後公表にしてほしい。
- ・B・Cランク業者育成のため、JVを組む場合は、B・Cランクを必ず入れるような設定をお願いしたい。
- ・低入札価格基準未満の場合、追加資料やヒアリング等の措置を検討してほしい。
- ・総合評価方式の入札がベストかどうかはわからないが、多数でのくじ引き入札は決して良くない。

〔その他〕

- ・どのように努力すれば良い工事ができるのか分からないので、分かりやすい工事成績評定について公表してほしい。
- ・公共工事の「あるべき姿」を真摯に追求してほしい。 42